

# 南砺市スポーツ推進計画

～生涯スポーツ社会の実現に向けて～

2012－2016（後期計画）

富山県南砺市

# 目 次

## 第 I 章 スポーツ推進計画策定の背景と意義

- 1 危惧される社会的背景  
(1) 少子高齢化の進展…………… 1  
(2) 富山県、南砺市の少子高齢化…………… 1  
(3) 科学技術の進展、高度情報社会によるストレスの増大…………… 1  
(4) 子どもたちの体力低下…………… 2  
(5) 地域コミュニティの衰退…………… 2
- 2 スポーツの意義とスポーツ推進計画の必要性  
(1) スポーツの意義…………… 2  
(2) スポーツ推進計画の必要性…………… 3
- 3 スポーツ推進計画の性格と関連施策  
(1) 南砺市の基本理念…………… 3  
    ① 南砺市の将来構想…………… 3  
    ② 3つの基本目標…………… 3  
    ③ 教育・文化の基本方針…………… 4  
(2) 国のスポーツ関連施策…………… 5  
(3) 富山県のスポーツ関連施策…………… 5  
(4) 南砺市のスポーツ推進計画…………… 5

## 第 II 章 スポーツ推進計画の理念と施策体系

- 1 スポーツ推進計画の基本理念…………… 6
- 2 生涯スポーツ社会の具体的ビジョン…………… 6
- 3 生涯スポーツ社会のビジョンとスポーツ推進の方向性…………… 7
- 4 スポーツ推進施策の体系…………… 8  
(1) 基盤的施策…………… 8  
(2) 重点施策…………… 8  
(3) 施策体系のイメージ…………… 8

## 第 III 章 基盤的施策

- 1 環境づくり…………… 10  
(1) 市営スポーツ施設・設備の質的充実…………… 10  
(2) 学校体育施設の整備と利用の促進…………… 10  
(3) 民間スポーツ施設との連携…………… 11  
(4) 管理・運営体制の改善…………… 11  
(5) スポーツ情報の提供…………… 11
- 2 人づくり…………… 12  
(1) スポーツ指導者の養成…………… 12  
(2) スポーツ団体の育成と支援…………… 15
- 3 プログラムづくり…………… 17  
(1) スポーツ参加機会の拡充…………… 17

|                    |    |
|--------------------|----|
| (2) スポーツ大会の誘致・開催支援 | 19 |
| (3) スポーツ医・科学の活用    | 20 |

## 第Ⅳ章 重点施策

|                                             |    |
|---------------------------------------------|----|
| 1 次代を担う子どもたちの育成                             | 22 |
| ◆ 現状と課題                                     | 23 |
| ◆ 具体的施策                                     | 25 |
| (1) 市民及び保護者への啓発                             | 25 |
| (2) 幼児期、小学校低学年期の運動経験の確保と体力向上プログラムの実践        | 25 |
| (3) 地域と連携した学校体育・スポーツの充実                     | 26 |
| (4) 指導者の派遣と研修の充実                            | 27 |
| (5) 競技力向上への橋渡し                              | 27 |
| 2 コミュニティスポーツの推進                             | 29 |
| ◆ 現状と課題                                     | 30 |
| ◆ 具体的施策                                     | 31 |
| (1) 市民の誰もが、目的や能力、好みに応じて、気軽に参加できるスポーツ事業の展開   | 31 |
| (2) 健康づくりを視野に入れたスポーツ事業の展開                   | 31 |
| (3) 高齢者の活躍できるスポーツ事業の展開                      | 31 |
| (4) コミュニケーションの場としてのスポーツ事業の展開                | 32 |
| (5) 南砺市の地理的特徴を生かしたアウトドアスポーツ事業の展開            | 32 |
| (6) スポーツ情報の収集と提供、「文化としてのスポーツ」の定着            | 32 |
| 3 地域で支えるスポーツ拠点づくり                           | 33 |
| ◆ 現状と課題                                     | 34 |
| ◆ 具体的施策                                     | 35 |
| (1) 自立に向けての支援体制の整備・充実                       | 35 |
| (2) 一体的な取り組みの推進                             | 35 |
| 4 チャンピオンスポーツの推進                             | 36 |
| ◆ 現状と課題                                     | 37 |
| ◆ 具体的施策                                     | 37 |
| (1) 体育協会の役割の明確化と共通理解                        | 37 |
| (2) 「一貫指導システム」の構築及びプログラムの策定、「長期的普及計画」の作成・実践 | 38 |
| (3) 他のスポーツ団体との連携と効率的・体系的な競技力向上策             | 38 |
| (4) 優秀な指導者の育成と指導者の資質向上、医・科学トレーニングの積極的導入     | 38 |
| (5) 体育施設の有効利用と活動拠点づくり、施設と連携した継続的な強化策        | 39 |
| (6) 企業スポーツとの相互支援                            | 39 |

## 第Ⅴ章 施策概要一覧

|                    |    |
|--------------------|----|
| 「南砺市スポーツ推進審議会」委員名簿 | 47 |
|--------------------|----|

# 生涯スポーツ社会の実現

## 重点施策

### 次代を担う子どもたちの育成

#### 趣 旨

- スポーツに親しむ子どもたちの育成に努めます。
- 子どもたちの体力、運動能力を多角的に伸ばし、「生涯スポーツ」「競技力向上」につなげます。

#### 施 策

- (1) 幼児期、小学生期の運動経験の確保
- (2) 地域と連携した学校体育・スポーツの充実
  - ① 子どものニーズに応じた「スポーツ教室」
  - ② 「スポーツ少年団」の育成
  - ③ 合同部活動の支援
  - ④ 総合型地域スポーツクラブとの連携
- (3) 競技力向上への橋渡し(市体育協会との連携)
  - ① 優秀選手育成事業
  - ② 小・中・高合同練習、医・科学トレーニング
- (4) 指導者の派遣と研修の充実

### コミュニティスポーツの推進

#### 趣 旨

- 誰もが、自分のライフスタイルに応じ、気軽にスポーツに親しむことのできる環境づくりを目指します。
- スポーツを通じ、市民の心豊かな交流を図り、健康で明るいコミュニティづくりを推進します。

#### 施 策

- (1) 市民が興味・関心に応じ、気軽に参加できる、スポーツ事業の展開
- (2) 健康づくりを視野に入れたスポーツ事業の展開
- (3) 高齢者の活躍できるスポーツ事業の展開
- (4) コミュニケーションの場としてのスポーツ事業の展開
- (5) アウトドアスポーツ事業の展開
- (6) スポーツ情報の収集と提供  
「文化としてのスポーツ」の確立

## 連携

### 地域で支えるスポーツ拠点づくり

#### 趣 旨

- 地域住民の誰もが気軽に身近なスポーツ施設でスポーツに親しむことができる「総合型地域スポーツクラブ」の育成に努めます。
- 市内の総合型地域スポーツクラブの長期的展望に立った、自立した運営を支援します。

#### 施 策

- (1) 自立に向けての支援体制の整備・充実
  - ① 広域スポーツセンターとの連携
  - ② 先進スポーツクラブの視察と情報の共有
  - ③ 指定管理制度による資金の確保
- (2) 一体的な取り組みの推進
  - ① 様々な体育団体と連携し、一体となってスポーツ推進に取り組む。
  - ② 南砺市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会により合同イベント、研修会を開催する。

### チャンピオンスポーツの推進(競技力向上施策)

#### 趣 旨

- 南砺市体育協会を中核としながら各体育団体が連携して、競技スポーツの推進と優秀選手の発掘及び強化、スポーツ団体の育成に取り組めます。

#### 施 策

- (1) 体育協会の役割の明確化と共通理解
- (2) 一貫指導システムの構築(プログラムの作成)  
各競技の長期普及計画の作成及び実践
- (3) 他の体育団体との連携  
効率的・体系的な競技力向上策
- (4) 優秀な指導者の育成、指導者の資質向上
- (5) 体育施設の有効利用と活動拠点づくり

## 基盤的施策

### 環境づくり

- 市営スポーツ施設・設備の質的充実  
(快適な機能・設備、アウトドアスポーツ施設の充実)
- 学校体育施設の整備と利用の促進  
(設備の充実、利用促進、管理体制の見直し)
- 民間スポーツ施設との連携
- 管理・運営体制の改善  
(ニーズに応じた開館業務、管理・運営の民間委託、研修の充実)
- スポーツ情報の提供  
(施設情報・イベント情報の提供、情報ネットワーク化)

### 人づくり

- スポーツ指導者の養成  
(コミュニティスポーツ、チャンピオンスポーツ、運動部活動など、  
多様なニーズに応える指導者の育成と研修会の充実)
- スポーツ団体の育成と支援  
(南砺市体育協会、南砺市スポーツ少年団、南砺市中学校体育連盟  
総合型地域スポーツクラブ 等のスポーツ団体の育成と支援  
各スポーツ団体の連携促進)

### プログラムづくり

- スポーツへの参加機会の拡充  
(大会、イベント、スポーツ教室・セミナーの充実)  
全国大会などへの参加支援、交流事業の促進)
- スポーツ大会の誘致・開催支援  
(トップレベルの大会誘致、市が一体となった大会運営)
- スポーツ医・科学の活用  
(医・科学トレーニングの推進と情報提供、相談機能の充実)  
スポーツ安全対策の推進)

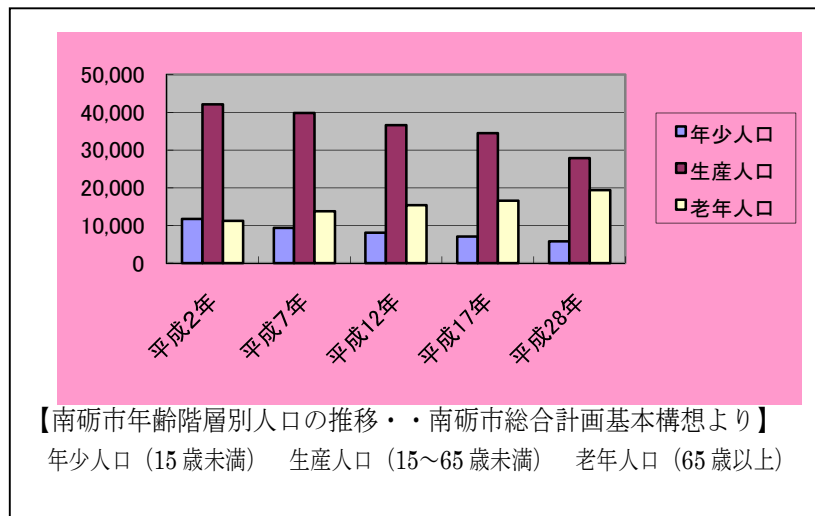
## 第 I 章 スポーツ推進計画策定の背景と意義

### 1 危惧される社会的背景

#### (1) 少子高齢化の進展

日本では、平均寿命の伸びと出生率の低下により、2010（平成22）年に23.0%（約4人に1人）であった高齢者（65歳以上）人口の割合が、2060年には39.9%（約10人中4人）となり、さらなる超高齢社会へ移っていくと予想されています。

#### (2) 富山県、南砺市の少子高齢化



富山県の高齢者の割合は、2011（平成23）年で26.3%と、すでに4人に1人以上となっており、南砺市は31.2%と、県内自治体では2番目に高い割合となっています。

少子高齢社会では、「高齢者の健康保持と生きがいある暮らしづくり」「次代を担う子ども

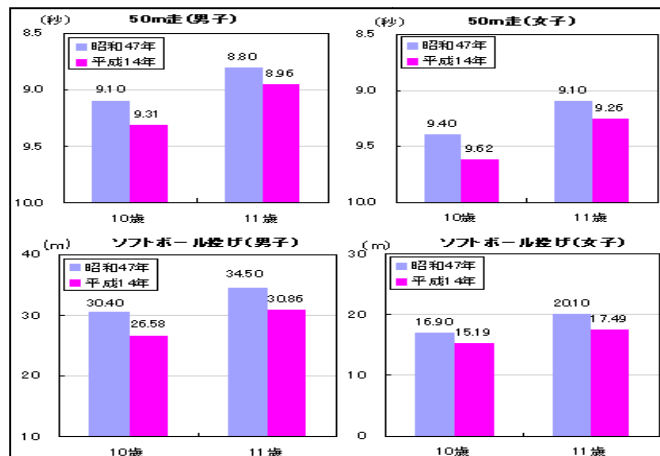
たちの健全育成」が重要な施策であり、スポーツがその大きな役割を担うものと考えられます。

#### (3) 科学技術の進展、高度情報社会によるストレスの増大

科学技術の進展や産業の発達の弊害として、生産年齢層の慢性的な運動不足が指摘されています。この運動不足が、肥満、高血圧、糖尿病などの生活習慣病の増加につながっています。

また、携帯電話やインターネットなどの情報技術の進展には目覚ましいものがありますが、一方では、便利な高度情報社会は、ストレスの増大や人間関係の疎遠化など、こころの健康にとって様々な問題を引き起こしています。

#### (4) 子どもたちの体力低下



【体力・運動能力調査結果 文部科学省】

現代の子どもたちを取り巻く環境は、昔に比べて遊びに費やす時間、安全に遊ぶことのできる場所（空間）、一緒に体を動かして遊ぶ仲間が少なくなってきました。いわゆる3間（サマ）の減少が起きています。また、コンピューターゲームの普及等によって、戸外で活発に遊ぶ子どもの姿が少なくなりました。その結果、「運動好き」と「運動嫌い」、「得意な子」と「不得意な子」の二極化が顕著になり、1985（昭和60）年頃か

ら子どもの体力は低下傾向にあります。

また、運動不足に加え、睡眠や食生活等の生活習慣の乱れが要因となって生活習慣病の低年齢化も危惧されており、高齢者を支える力、日本の将来を担う力どころか、「子ども自身の健康」が心配な状況です。

#### (5) 地域コミュニティの衰退

子どもの減少や若年層の流出等により、過疎化や高齢化が進行するにつれ、地域コミュニティが衰退している状況にあります。世代を超えた交流が困難になり、地域コミュニティの担い手のさらなる減少につながっています。このことは、相互扶助やコミュニティ活動の衰退ばかりでなく、青少年の健全育成にも影を落としています。

## 2 スポーツの意義とスポーツ推進計画の必要性

### (1) スポーツの意義

循環器系や筋肉、骨格の強化など、スポーツは、身体の成長、発達、維持に大きく寄与します。また、スポーツを行うことによって得られる爽快感、達成感、連帯感などは、精神的な充足をもたらします。

心身の両面に大きな効果をもたらすスポーツは、「明るく豊かで活力に満ちた社会の形成」や「個々の心身の健全な発達」のために必要不可欠な要素であると言えます。

#### 個人にとっての意義

- 人間の基本的な欲求を満たします。
- 健康の保持増進、体力の向上に役立ちます。
- 人とのふれあいを深め、他者との連携を促進し、コミュニケーション能力を育成します。
- 爽快感や達成感等の精神的な充足や楽しさを与えます。
- 生活習慣病を予防します。

#### 社会に対する意義

- 青少年の健全育成（フェアプレーの精神や自己責任など）に寄与します。
- 地域における連帯感を醸成し、地域教育力の再生に寄与します。
- 市民の心身両面にわたる健康の保持・増進に大きく貢献し、医療費や社会保障経費の節減効果が期待できます。
- 他の自治体、国との相互理解と友好・親善を深める役割を果たします。

#### （２）スポーツ推進計画の必要性

スポーツの意義を勘案すると、市民一人ひとりが、生涯にわたってスポーツに親しむことは、明るく活気ある南砺市づくりにおいて、極めて大きな役割を果たすと思われます。

南砺市として、確固たる理念のもと、より組織的に、より計画的にスポーツ推進策を講ずる必要があり、スポーツ推進計画の策定と計画に基づいた実践が求められます。

### 3 スポーツ推進計画の性格と関連施策

#### （１）南砺市の基本理念

##### ① 南砺市の将来構想

南砺市は、「さきがけて 緑の里から 世界へ」を将来像に掲げ、各地域の個性を有機的に結びつけながら、活気と活力に満ちたまちづくりを目指しています。

##### ② 3つの基本目標

将来像の実現のため、次の3つの基本目標を掲げています。

##### ○ 美しく住みよいまち

循環型社会づくりを展開するとともに、身近な生活環境の向上、地域が一体となった総合的な福祉・健康対策等の推進によって、いつまでも暮らし続けたいと思う地域づくりを進めます。

##### ○ 創造的で元気なまち

多様で豊かな自然・歴史・文化を活かし、心豊かな人材育成や芸術文化振興、地域内外との交流・連携などを図るとともに、産業振興や定住対策を講じ、創造的で活力ある地域づくりを展開します。

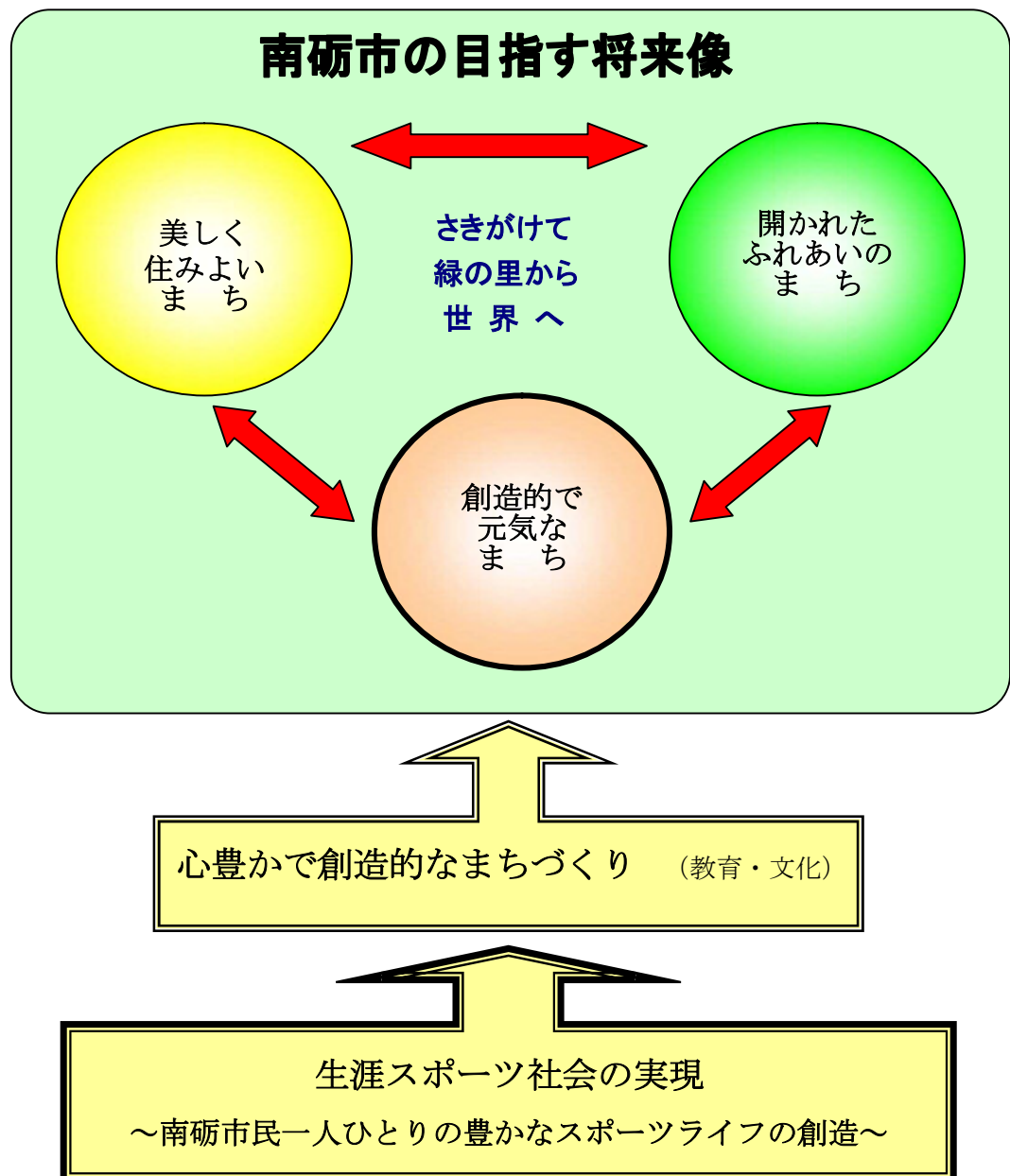
##### ○ 開かれたふれあいのまち

各地域の市民が相互の認識のもとで、夢を描き、実践していく「市民が主体となった地域づくり」を推進します。また、市民の活動を支援する安定した行政サービスの提供を目指します。

③ 教育・文化の基本方針

「心豊かで創造的なまちづくり」を基本方針に掲げ、創造性にあふれる人づくりと地域社会の形成を目指します。

- 次代を担う子どもたちの健やかな成長を目指した、家庭、地域、学校が一体となった教育
- 生涯にわたり気軽に学んだりスポーツに親しんだりできる環境と体制づくり
- 地域間の生涯学習、スポーツ、芸術文化活動の交流
- 地域文化の保存・継承と相互連携による魅力の向上





## （２）国のスポーツ関連施策

スポーツ活動を通じた健康づくりに対する国民意識の高まりを受け、２０００（平成１２）年に文部省（現文部科学省）は、スポーツ振興法に基づき「スポーツ振興基本計画」を策定しました。この計画は、２００１（平成１３）年からの概ね１０年間で実現すべきスポーツ振興の方向性を示すとともに、各自治体のスポーツ振興施策の推進を呼びかけています。

２０１０（平成２２）年には、「スポーツ立国戦略」が策定され、スポーツをする人、観る人、支える（育てる）人を重視し、スポーツ界の「連携・協働」による人材の好循環の創出を挙げています。

２０１１（平成２３）年には、「スポーツ振興法」を全面改正し、新たに「スポーツ基本法」が制定され、これに基づき２０１２（平成２４）年に「スポーツ基本計画」が策定されました。「スポーツ基本法」では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは人々の権利である」としています。

## （３）富山県のスポーツ関連施策

富山県では、１９８５（昭和６０）年に「日本一のスポーツ県」の実現を目標に「生涯スポーツプラン」を策定し、２０００年国体の成功をはじめ、大きな成果を挙げました。

また、２００１（平成１３）年には、「富山県新世紀スポーツプラン」を策定し、「健康とスポーツのはつらつ県」を目標に、「総合型地域スポーツクラブの全県展開」「全国、世界の檜舞台で活躍できる選手の育成」「２１世紀を担う健康でたくましい子どもたちの育成」に関する事業を展開してきました。

２０１２（平成２４）年には、国の「スポーツ基本計画」を踏まえ、「元気とやまスポーツ推進プラン」が策定されました。

## （４）南砺市のスポーツ推進計画

「スポーツ基本法」により、「南砺市スポーツ振興計画」は「南砺市スポーツ推進計画」に名称が変更となりました。２００７（平成１９）年に策定した「南砺市スポーツ振興計画」は、計画の対象となる期間を２００７（平成１９）年度から２０１６（平成２８）年度までの１０年間とし、２０１１（平成２３）年度までの５年間を前期、２０１２（平成２４）年度から２０１６（平成２８）年度までの５年間を後期としています。計画策定から５年が経過することに伴い、前期の進捗状況等を踏まえ、南砺市総合計画をはじめ、関連計画との整合性を図るとともに、国の「スポーツ基本計画」及び県の「元気とやまスポーツ推進プラン」を参酌し、後期計画を策定しました。

## 第 II 章 スポーツ推進計画の理念と施策体系

### 1 スポーツ推進計画の基本理念

#### 目 標 生涯スポーツ社会の実現

##### 基本理念 ～南砺市民一人ひとりの豊かなスポーツライフの創造～

南砺市スポーツ推進計画では、「生涯スポーツ社会」の実現を目標として掲げます。

生涯スポーツ社会とは、市民がそれぞれのライフスタイルに応じてスポーツの持つ多様な意義を享受することのできる社会であり、その実現のため、「市民一人ひとりの豊かなスポーツライフの創造」を基本理念として各種施策を推進します。

### 2 生涯スポーツ社会の具体的ビジョン

生涯スポーツ社会の具体的なビジョンは次に掲げるとおりです。

生涯スポーツ社会では、多様なスポーツ活動が主体的に展開され、そのことによって、スポーツを基盤としたコミュニティづくりが促進されるとともに、市民の生活が活性化され、「活力と活気に満ちた南砺市」の形成が進展します。

#### ○ 市民の誰もが手軽にスポーツができる社会

市民が、それぞれの目的や能力、適性、関心などに応じ、身近なスポーツ施設で、いつでも手軽にスポーツを行うことができる。

#### ○ 明るいコミュニティが育まれる社会

国や世代、性別、障がいの有無等を越え、日常のスポーツ活動や様々なスポーツ教室・大会・イベントなどへの参加を通じて、人々との交流・交歓が活発に行われ、明るいコミュニティが形成される。

#### ○ 子どもたちがスポーツを楽しみ、夢を育むことができる社会

児童生徒が、学校や身近な地域の中でスポーツを楽しんだり、スポーツに挑戦したりすることで、心身の健全な発育・発達を遂げるとともに、目標や夢をもって生活することができる。また、生涯にわたってスポーツに親しんでいく基礎を培うことができる。

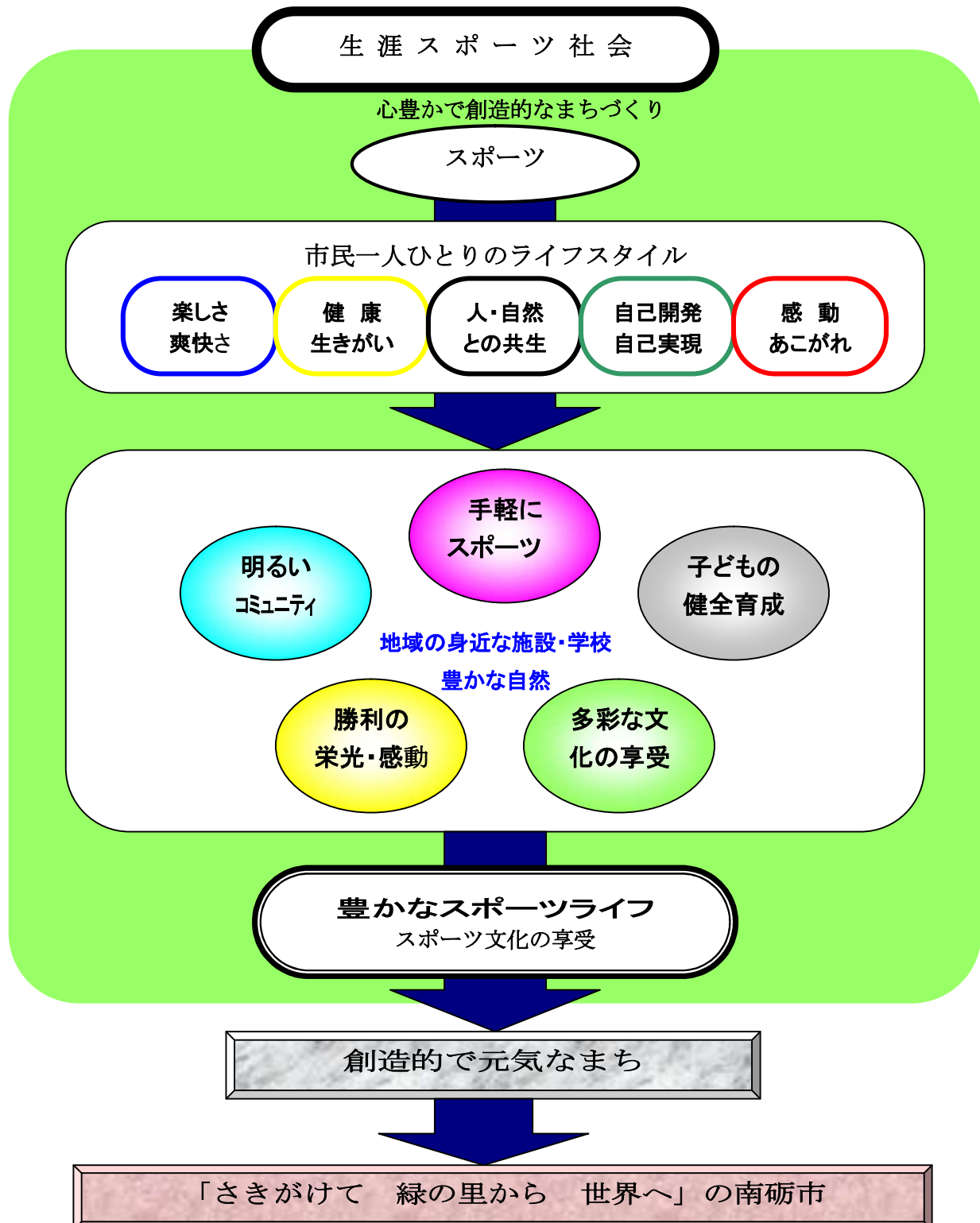
#### ○ 勝利の栄光・感動を分かち合うことのできる社会

チャンピオン志向の競技者が、自らの能力を最大限に伸ばし、全国や世界の檜舞台で活躍することによって、競技の栄光を勝ち取るとともに、市民に感動と活力を与え、子どもたちの夢と希望を育むことができる。

○ 多彩なスポーツ文化を享受することができる社会

「質の高いスポーツを行う」「スポーツを観て楽しむ」「スポーツをサポートする」など、スポーツへの多様な関わりによって、スポーツの持つ多彩な文化的機能を享受することができる。

3 生涯スポーツ社会のビジョンとスポーツ推進の方向性



## 4 スポーツ推進施策の体系

スポーツ推進計画では、スポーツ推進のビジョンや施策の性格などから、「基盤的施策」と「重点施策」に分類し、施策体系を構成します。

### (1) 基盤的施策

基盤的施策は、「環境づくり」「人づくり」「プログラムづくり」から構成します。

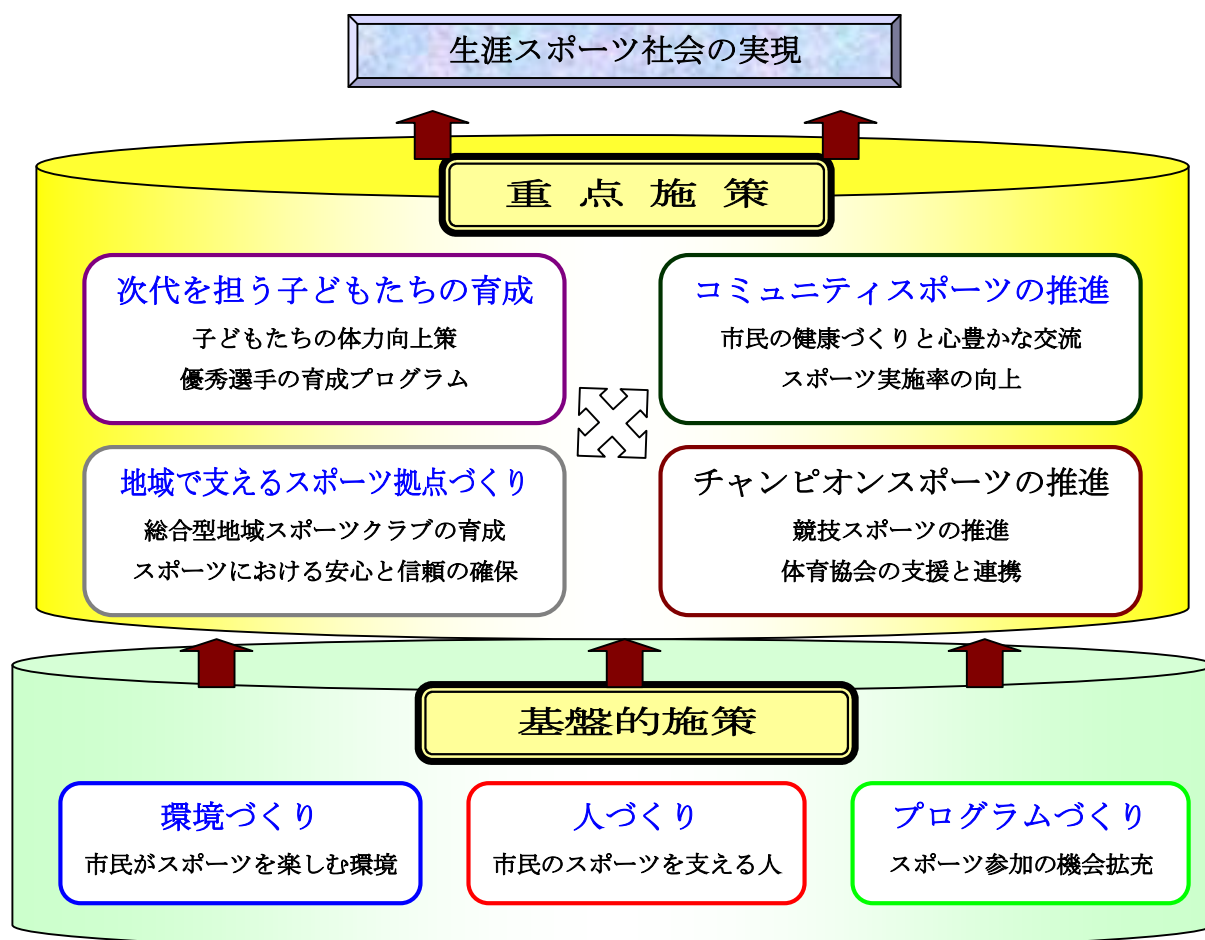
基盤的施策では、施設・設備の充実や有効利用の促進、指導者の養成や資質の向上、参加機会の拡充・奨励など、スポーツ推進の基盤づくり、土台づくりに努めます。

### (2) 重点施策

重点施策では、「社会的背景」「南砺市総合計画」「文部科学省スポーツ基本計画」「元気とやまスポーツ推進プラン」等の多角的見地から、南砺市のスポーツ振興の目指すべき仕組みづくりについて、その方向性を示します。

具体的には、「次代を担う子どもたちの育成」「コミュニティスポーツの推進」「地域で支えるスポーツ拠点づくり」「チャンピオンスポーツの推進」の4つの柱から、総合的なスポーツ推進を図ります。

### (3) 施策体系のイメージ



## 第Ⅲ章 基盤的施策

### スポーツ推進の土台づくり

～市民の誰もが、安心してスポーツに親しむことができるように～

#### 基盤的施策項目

##### 1 環境づくり

スポーツ施設の維持・改善と学校体育施設の設備充実に努めます。  
また、スポーツ情報提供の充実とネットワークの整備に努めます。

##### 2 人づくり

スポーツを支える指導者の確保と養成、各種スポーツ団体の育成と団体相互の連携協力を推進します。

##### 3 プログラムづくり

市民のスポーツ参加機会の拡充を図るとともに、「するスポーツ」「観るスポーツ」「支える（育てる）スポーツ」など、スポーツへの多様な関わりを促進します。  
また、スポーツ医・科学を導入するなど、科学的で効率的な強化・普及策に努めます。

## 1 環境づくり

スポーツ推進のためには、「誰でも」気軽にスポーツに親しむことのできる施設の充実が不可欠となります。南砺市は多くのスポーツ施設を有しており、これらの施設の維持・管理に努めるとともに、一層の活用の推進に努めます。

### (1) 市営スポーツ施設・設備の質的充実

既存の市営スポーツ施設・設備の充実を図り、市民が快適に、安心してスポーツに親しむことができるよう、スポーツ環境の整備に努めます。

#### ① 施設の充実

老朽化したスポーツ施設の整備を計画的に実施します。

#### ② 最大限の機能発揮

高齢者や障害のある人々への配慮を含め、施設のもつ機能が十分に発揮されるとともに、より快適なスポーツ環境が提供できるよう、施設・設備の充実に努めます。

#### ③ アウトドアスポーツ施設の充実

アウトドアスポーツの人気の高まりに応えるとともに、南砺市の自然環境（地理的特徴）を十分に活かすことができるよう、市内アウトドアスポーツ施設の整備に努めます。また、市民の有効利用を支援します。

### (2) 学校体育施設の整備と利用の促進

学校体育施設・設備の充実に努め、子どもたち及び地域住民が主体的、積極的に施設を利用するようはたらきかけます。

#### ① 施設の充実

学校体育施設は、授業や運動部活動の活動場所であることはもとより、地域住民の最も身近にあるスポーツ施設でもあります。

利用頻度が高く、老朽化の見られる体育館やグラウンドの計画的な整備に努めます。

#### ② 設備の充実

子どもたちの競技力向上、地域住民の快適なスポーツ活動を目指し、設備及び備品の計画的な整備に努めます。

③ 利用促進

地域住民のニーズに応えられるよう努め、管理・運営体制を整えて施設の有効利用を促進します。

(3) 民間スポーツ施設との連携

民間のスポーツ施設との連携を密にし、市民のスポーツ推進に活かします。

民間スポーツ施設の一部利用やインストラクターの派遣事業など、民間のスポーツ施設と総合型地域スポーツクラブが連携して市民のスポーツ推進に貢献します。

(4) 管理・運営体制の改善

利用者が気軽に利用しやすい施設となるよう、管理・運営の改善に努めます。

① 利用ニーズに応じた開館業務

開館日や開館時間帯の見直し、利用申込手順の改善を図り、市民が利用しやすい施設管理・運営に努めます。

② 施設管理・運営の民間委託

民間活力を最大限に活かし、合理的かつ地域や施設の特性に応じた管理・運営にあたるよう努めます。

③ 研修の充実

施設管理職員は、施設の管理体制、運営方法の研修に参加し、市民に親しまれるスポーツ施設、学校体育施設を目指します。

④ 受益者負担による健全な運営

施設利用料や照明料等に関する調査・研究を進め、受益者負担の原則に基づき公平で安定した運営に努めます。

(5) スポーツ情報の提供

「スポーツ」には、「する」「観る」「支える（育てる）」など、多くの親しみ方があります。

より多くの市民がスポーツに親しむために、スポーツに関する情報を、様々な角度から受信、発信、共有、活用できるよう、スポーツ情報ネットワークを整備します。

### ① スポーツ情報提供の充実

「スポーツ施設」や「スポーツイベント」「総合型地域スポーツクラブ」「指導者」「研修会」「健康づくり事業」に関する情報をいち早く収集・整理し、「広報なんと」や情報誌、ケーブルテレビ、インターネット等の各種媒体を通して広く市民に提供します。

### ② スポーツ情報のネットワーク化

南砺市ホームページを利用した施設予約の確認システムを、利用者の要望に応えながら改善していきます。

また、スポーツ医・科学などの高度な情報に関しても市民に提供できるよう、関係機関と連携しながら、スポーツ情報のネットワーク化に努めます。

## 2 人づくり

市民のスポーツ活動の多様化、高度化にともない、指導者に対するニーズもより多様化しています。「子どもたちの育成」「コミュニティスポーツ」「チャンピオンスポーツ」の各領域において、それぞれのニーズに応えることができる指導者の養成と資質の向上が求められます。

また、様々なスポーツイベントを支えるスポーツボランティアの発掘と育成も急務となっています。

さらに、スポーツの普及や競技力向上の推進母体となる、各種スポーツ団体の育成も大きな課題であり、スポーツ推進にあたっては、団体相互の連携・協力のもと、一体的に取り組むことが不可欠となっています。

### (1) スポーツ指導者の養成

- 様々なスポーツニーズに対応できるコミュニティスポーツ指導者の養成に努めます。
- トップレベルの競技者を計画的に育成することのできるチャンピオンスポーツ指導者の養成に努めます。
- 各種スポーツイベントを支えるスポーツボランティアの育成に努めます。

#### ① コミュニティスポーツ指導者の養成

地域住民の潜在的なスポーツニーズを掘り起こし、スポーツの生活化を促進していくために、次のような資質を備えたコミュニティスポーツ指導者の養成に努めます。

- ・ スポーツの技術指導及び「スポーツの楽しさ」や「交流の喜び」等の伝達指導
- ・ 地域におけるスポーツ大会やスポーツイベント等の企画・立案・運営



- ・ 総合型地域スポーツクラブの育成・発展への主体的な関わり

## ② チャンピオンスポーツ指導者の養成

市民選手が全国や世界で活躍することは、市民に勇気と感動を与え、市全体及び地域の活性化につながります。しかしながら、昨今は少子高齢化が顕著で、各競技種目における競技人口の減少が危惧されます。

市では、「一貫指導型競技者育成」の実現のため、次のような資質を備えた指導者の養成を支援します。

- ・ 競技のトップレベルに照準を合わせた「強化計画」の立案
- ・ 競技のトップレベルに照準を合わせた「一貫指導プログラム」の立案
- ・ 「強化計画」や「一貫指導プログラム」の理解と、選手の個性や発達段階に応じた指導実践
- ・ 現状分析の上に立った「強化計画」「一貫指導プログラム」の修正及びその実践

## ③ 運動部活動指導教員の資質の向上

「生涯スポーツ」の見地からも「チャンピオンスポーツ」の見地からも、運動部活動の果たす役割は大きく、とりわけ最も身近で指導にあたる教員の指導力向上が望まれるところです。

市では、運動部活動指導教員が、次のような様々な資質を身に付けるよう支援します。

- ・ 心と体を一体としてとらえ、合理的・積極的に運動に親しもうとする子どもの育成
- ・ 多様な動きや運動を取り入れた子どもの運動能力の総合的な伸長
- ・ 「競技志向」や「楽しみ志向」など、子どもの多様な志向に対応した指導
- ・ 練習日数や練習時間を適切に設定した「年間指導計画」の作成及び計画に沿った指導の実践
- ・ 「一貫指導プログラム」に関する理解及び地域や各競技団体の指導者と連携した実践

## ④ スポーツ推進委員の資質の向上

スポーツ推進委員は市が委嘱している非常勤公務員です。コミュニティスポーツ指導者として、スポーツの技術指導のほか、スポーツに関する様々な指導・助言、各種スポーツ事業の企画・立案・運営に携わるなど、市全体あるいは各地域のスポーツ推進に大きく貢献しています。

総合型地域スポーツクラブのオーガナイザー、あるいは行政と地域住民を結ぶコーディネーターとしての役割も期待されています。

スポーツ推進委員の資質をさらに向上するとともに、スポーツ推進委員が各種スポーツ団体と密接に連携・協力しながら、主体的に市民のスポーツ推進にあたるよ

うにします。

⑤ アウトドアスポーツ指導者の養成

自然の中での活動や自然とのふれあいを求めて、アウトドアスポーツに対する人気が高まりを見せています。

一方、自然の中でのスポーツでは、「知識や技術の未熟さから生じる事故の防止」や「自然保護・自然との共生」が重要な課題となります。

市では、登山やキャンプ、スキーの安全で正しい技術と知識、自然とのふさわしい関わり方とマナーなどについて、適切に指導できる指導者の養成・確保のための支援をします。

⑥ スポーツボランティアの育成と確保

スポーツ振興が促進され、市あるいは各地域においてスポーツイベントが増加すればするほど、そうしたイベントを支えるスポーツボランティアの存在が必要となります。

「支える（育てる）スポーツ」の側面とその重要性を広く市民に伝えるとともに、「とやまスポーツ情報ネットワーク」を活用し、スポーツボランティアの育成と確保に努めます。

⑦ 各種指導者の養成及び資質向上のための研修会

①～⑥の目的を達成するため、次のような研修・講習への参加を促します。

- ・ 富山県生涯スポーツ指導員養成講習会
- ・ 富山県スポーツリーダーバンク研修会
- ・ 国・県が開催するクラブマネジャー養成講習会
- ・ スポーツプログラマーやスポーツトレーナー、健康運動指導士等の講習会
- ・ 国、県、市が開催する各種競技種目指導者研修会
- ・ 国、県が開催する各種アウトドアスポーツ指導者養成講習会
- ・ 県、市が開催する運動部活動指導者研修会及び情報交換会
- ・ 国、北陸、県、市が開催するスポーツ推進委員研修会
- ・ 国や県が開催する登山指導者養成講習会
- ・ 県が開催するスポーツボランティア養成講習会
- ・ 南砺市体育協会や南砺市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が開催する各種指導者講習会



## (2) スポーツ団体の育成と支援

「南砺市体育協会」「南砺市スポーツ少年団」「総合型地域スポーツクラブ」「南砺市中学校体育連盟」などのスポーツ団体は、スポーツの普及・推進や競技力向上の推進母体として大きな役割を担っています。

南砺市の各スポーツ団体の自主的・主体的活動を支援するとともに、各スポーツ団体が、それぞれの独自性を保ちつつ、より協調してスポーツ推進にあたります。

### ① 南砺市体育協会

「南砺市体育協会」は、市内で最も多くのスポーツ実践者及び指導者を有する団体です。

また、「南砺市体育協会」は、加盟団体のみならず、「スポーツ少年団」「中学校体育連盟」や「総合型地域スポーツクラブ」を、指導面や運営面から支えている、南砺市スポーツ推進の要となる団体です。

今後、「南砺市体育協会」が、一層のスポーツ推進（スポーツの普及と競技力向上）を実施できるよう、次のような支援を行います。

- ・ 体系的で継続的な強化・普及策推進のための指導・助言
- ・ 「一貫指導システム」の構築に関する情報の収集と提供及び「一貫指導プログラム」の作成に関する支援
- ・ 「南砺市体育協会」が、各総合型地域スポーツクラブや「南砺市中学校体育連盟」等のスポーツ団体と連携した普及・強化策を展開するための連絡・調整
- ・ 「指導者の養成と確保」「資質の向上」を目指した各種研修会や講習会への参加促進及び南砺市独自の指導者講習会や講演会の開催

### ② 南砺市スポーツ少年団

「スポーツ少年団」は、スポーツを通じた心身の健全育成を目的として結成されたものであり、子どもたちの体力低下が問題となっている昨今、その必要性がさらに高まってきています。

この時期は、体力・技術面はもちろん、心情面でも「生涯スポーツの基礎づくり」の重要な時期となります。指導にあたっては、児童生徒の発育・発達段階に十分配慮しながら、複数種目制やシーズンスポーツ制などの導入を図り、スポーツの持つ「楽しさ」を多面的に伝えることが大切です。

このようなことを踏まえ、次のような支援を行います。

- ・ スポーツ少年団活動の望ましい発展を目指した、県内外で開催される指導者研修会や講習会への参加促進及び指導者の資質向上
- ・ 県内外のスポーツ少年団とのスポーツを通じた交流の促進及び交流を通じた豊かな心と健やかな体をそなえた児童生徒の育成

- ・ 「南砺市体育協会」や「総合型地域スポーツクラブ」との連携の上に立った「一貫指導システム」の構築及び児童生徒の技術・体力レベル、発育・発達段階に対応した指導
- ・ 指導者や保護者、学校との情報交換の場の設定及び安全なスポーツ環境の整備

### ③ 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブは、地域住民の「誰もが」「気軽に」「いつまでも」スポーツに親しむことができるよう、「環境」・「人」・「プログラム」の三要素を統合して運営される組織です。

地域の身近なスポーツ施設を拠点とし、多種目・多世代型のプログラムを有していることから、今後、コミュニティスポーツ振興の中核を担う組織として期待されています。また、「競技力向上」や「子どもの健全育成」「コミュニティの形成」等、その役割はますます広がっています。

市内には8つのスポーツクラブがあります。4つの NPO 法人によるスポーツクラブは、すでに自立した運営が行われていますが、旧村部におけるスポーツクラブは、地域住民が少ないため自立運営可能な会員数が確保できず、今後も行政の財政支援や他の団体との連携が必要です。

各スポーツクラブについては、地域に根ざした積極的な活動を展開できるよう次のような支援を行います。

- ・ 国・県主催のクラブマネジャー養成講習会への参加促進と支援
- ・ 事務局体制の充実・強化に向けた指導助言と事業に対する支援
- ・ それぞれのクラブの活性化を目指した「施設管理」「施設利用」に関する指導・支援
- ・ より広域的で質の高い活動提供のための富山県広域スポーツセンターとの連携促進
- ・ 南砺市の広域スポーツセンター的な役割を担う、「南砺市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」の活動支援

### ④ 南砺市中学校体育連盟

「南砺市中学校体育連盟」は、南砺市民体育大会（中学の部）や強化事業の開催を通じて、運動部活動を積極的に推進しています。

中学生にとって運動部活動は、「心身の健全な発育・発達」の面においても、「スポーツ実践の基礎づくりと発展」の面においても大変有意義な活動です。

しかしながら、「少子化による部員の減少」「指導者の減少」「勝利至上主義と部員の負担」など様々な問題を抱えています。

このような問題を解決するために、次のような支援に努め、運動部活動の活性化と競技力の向上を図ります。

- ・ 「南砺市中学校体育連盟」や運動部活動指導者との綿密な情報交換及び問題点の早期洗い出し、早期解決
- ・ 「南砺市体育協会」や「総合型地域スポーツクラブ」と連携した「一貫指導システム」の構築及び生徒のニーズや技術・体力レベルに対応した指導
- ・ より専門的で効率的な指導のための外部指導者の派遣支援及び「南砺市体育協会」や「総合型地域スポーツクラブ」との連絡・調整
- ・ 複数校による「合同部活動」の実施と、「合同チーム」による大会参加の支援
- ・ 「南砺市体育協会」と連携した、「南砺市選抜チーム」の編成及び県大会への参加支援

### 3 プログラムづくり

「体力づくり・体力向上」「健康保持」「生活習慣病予防」など、スポーツが身体に及ぼす好影響については周知のとおりです。

また、「自己実現の喜び」「仲間と楽しみを分かち合う喜び」「生きがい」など、スポーツが精神に及ぼす好影響も大きなものがあります。

さらに、地元スポーツ選手の活躍は、市民、地域住民に感動と勇気を与え、市及び地域の活性化に大きく寄与します。

このような観点から、「市民、地域住民のスポーツ参加機会の拡充」や「各種スポーツ大会の誘致・開催」「スポーツ医・科学の活用」などの「プログラムづくり」は、大変重要な施策であり、その実践は、「スポーツによる地域貢献」にも結びつき、「スポーツ文化の確立」へとつながります。

#### (1) スポーツ参加機会の拡充

各スポーツ団体と連携しながら、市民の誰もが、それぞれの目的や能力、好みに応じて主体的にスポーツに参加できる機会の拡充と提供に努めます。

##### ① スポーツ大会・イベントの充実

市民が主体的に参加できるスポーツ大会やイベントは、市民あるいは参加者が普段の練習の成果を発表したり、持てる力を最大限に発揮したり、交流を育んだりすることができるなど、「コミュニティスポーツ」においても「チャンピオンスポーツ」においても大きな意義を有しています。

市では、「市民体育大会」や「各種アウトドアスポーツ大会」「各地域におけるスポーツ・レクリエーション大会」等、市民のスポーツ活動に密着したスポーツ大会及びスポーツイベントの推進に努めます。

また、そうした大会やイベントが、市民にとってより有益で実りあるものとなる

よう、各スポーツ団体との連携と運営体制の強化に努め、必要に応じて指導・助言を行います。

さらに、「競技の普及」や「競技力向上」が適切に図られるよう、計画的な大会・イベントの開催を促進します。

## ② スポーツ教室・セミナーの充実

誰もが気軽に参加できる「スポーツ教室」や「セミナー」は、「スポーツのきっかけづくり」あるいは「スポーツ習慣確立のための手段」として、市民の健康の保持増進や相互の交流に大変大きな役割を果たしています。

また、技能レベルやライフステージ（対象年齢層）に応じた「スポーツ教室」や「セミナー」は、「競技力の向上」や「子どもたちの体力向上」「高齢者の健康と生きがいづくり」に大きく寄与しています。

市では、市内のスポーツ施設や学校体育施設を有効活用しながら、誰もが、それぞれの目的や能力、好みに応じて参加できる「教室」や「セミナー」の開催を積極的に支援します。

- ・ 「幼児期、小学校低学年期の運動経験確保のためのスポーツ教室・セミナー」や「子どもたちの多様なニーズに応じたスポーツ教室・セミナー」、あるいは「子どもたちの競技力向上のためのスポーツ教室・セミナー」など、子どもたちの体力向上のための「スポーツ教室・セミナー」の開催
- ・ 「健康の保持増進」「生活習慣病の予防」「ストレス解消」「仲間づくり」を目的とした、成年層・壮年層を対象とする「スポーツ教室・セミナー」の開催
- ・ 高齢者がいつまでも各種スポーツを無理なく楽しむための、高齢者を対象とする、年齢や体力に応じたスポーツプログラムの作成及びその普及

## ③ 全国大会などへの参加の支援

市や地域の選手が、県を代表する選手となり、全国の檜舞台で活躍する姿は、市民を勇気づけ、夢と希望、誇りを醸成します。

市の活性化、市民の一体感や郷土愛を育む上においても重要な役割を果たします。

チャンピオンスポーツを積極的に推進していく観点からも、県の代表として、全国や北信越など上位の大会に出場する選手を支援します。

## ④ スポーツを通じた交流事業の推進

南砺市では、合併前から各地域が国内外の様々な都市と姉妹提携を結び、交流を深めてきました。スポーツによる交流も盛んであり、地域や言葉の壁を越えて行うことのできるスポーツ交流の意義はますます高まるものと考えられます。

今後は、多くの市民が「良識ある社会人」、あるいは「国際人」として活躍できるよう、各地域でのスポーツ交流事業を南砺市全体に広げていくようはたらきかけます。

## (2) スポーツ大会の誘致・開催支援

市民に夢と感動を与える、「日本のトップレベルの大会」や「全国規模の大会」を積極的に誘致するとともに、行政と市民が一体となって大会の開催を支援します。

### ① トップレベルのスポーツ大会の誘致（「観るスポーツ」）

「観る人」にとって、トップレベルの競技者のプレーに直に触れることは、そのスポーツ本来の魅力や迫力を直に感じることであり、とりわけ青少年にとっては、夢と高い目標を抱くきっかけともなります。つまり、トップレベルの競技者による大会を誘致することは、その競技の普及のみならず、競技力の向上にも大きく寄与するものです。

市では、こうしたトップレベルの大会を積極的に誘致し、多くの市民が、スポーツの素晴らしさに感動し、夢をもってスポーツに取り組もうとする心情を育むよう努めます。

### ② 市が一体となった大会運営（「支える（育てる）スポーツ」）

「トップレベルの大会」や「全国規模の大会」の開催にあたっては、献身的に運営に協力するスタッフ（スポーツボランティア）の存在が不可欠です。スポーツへの取り組み方が多様化・個性化する中で「支える（育てる）スポーツ」の側面も重要となってきていると言えます。

大会運営に関わることで、「生きがい」や「連帯感」「成就感」「達成感」を味わうことができ、場合によっては、トップレベルの選手・スタッフとの交流も可能となります。

市では、こうした「支える（育てる）スポーツ」の素晴らしさを広く市民に伝えるとともに、県の「スポーツボランティア育成事業」等とも連携しながら、スポーツボランティアの育成に努めます。

さらに、主催者と行政、スポーツボランティアが一体となって運営にあたることのできる環境づくりに努めます。

### (3) スポーツ医・科学の活用

チャンピオンスポーツ選手のレベルアップと、市民の安全で効率的なスポーツ推進を目指し、スポーツ医・科学の推進に努めます。

また、スポーツドクター等と連携し、健康・体力相談機能の充実に努めます。

#### ① 医・科学トレーニングの推進と情報の提供

スポーツ医・科学における県の中核機関である県総合体育センターや専門研究機関等と連携しながら、情報の収集に努めます。

また、「南砺市体育協会」や「南砺市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」と連携して、「科学的トレーニング」や「メンタルトレーニング」等の「医・科学トレーニング」に関する研修会を開催し、指導者や競技選手の資質向上に努めます。

さらに、収集した情報や研修した手法について、競技者はもちろん、広く市民に伝え、競技力の向上と市民の「安全で効率的なスポーツ」につなげるよう努めます。

#### ② 健康・体力相談、トレーニング相談の拡充

「スポーツドクター」や「スポーツトレーナー」「専門研究者」「県総合体育センター」「県西部体育センター」との連携を密にし、健康・体力相談、トレーニング相談の充実に努めます。

#### ③ スポーツ安全対策の推進

市民が安心してスポーツに親しむためには、指導者や大会運営に携わるスタッフが、スポーツ障害等に関する知識を有し、事故防止や事故発生に対して適切に処理できることが必要です。

市では、安全対策を次の2つの観点から推進します。

- ・ 事故の予防や事故発生時の応急処置、法的責任などに関する研修機会の充実
- ・ スポーツ傷害保険加入の奨励





## 第 IV 章 重点施策

### 将来的展望に立ったスポーツ振興の総合的な取り組み

～各スポーツ団体の連携による、機能的なスポーツの推進～

#### 重点施策項目

##### 1 次代を担う子どもたちの育成

次代を担う子どもたちの健全育成（体力・運動能力の向上）を図るとともに、生涯にわたりスポーツに親しもうとする心情を養います。

また、計画的に優秀選手の育成に努め、競技力の向上につなげます。

##### 2 コミュニティスポーツの推進

スポーツを通じ、国や世代、性別、障がいの有無等を越え、地域住民の健康づくりや人々の豊かな交流を推進し、健康で明るいコミュニティづくりを進めます。

また、地域住民のスポーツ習慣の確立を支援し、成人のスポーツ実施率（週に1回以上運動を行う者の割合）が30%以上となることを目指します。

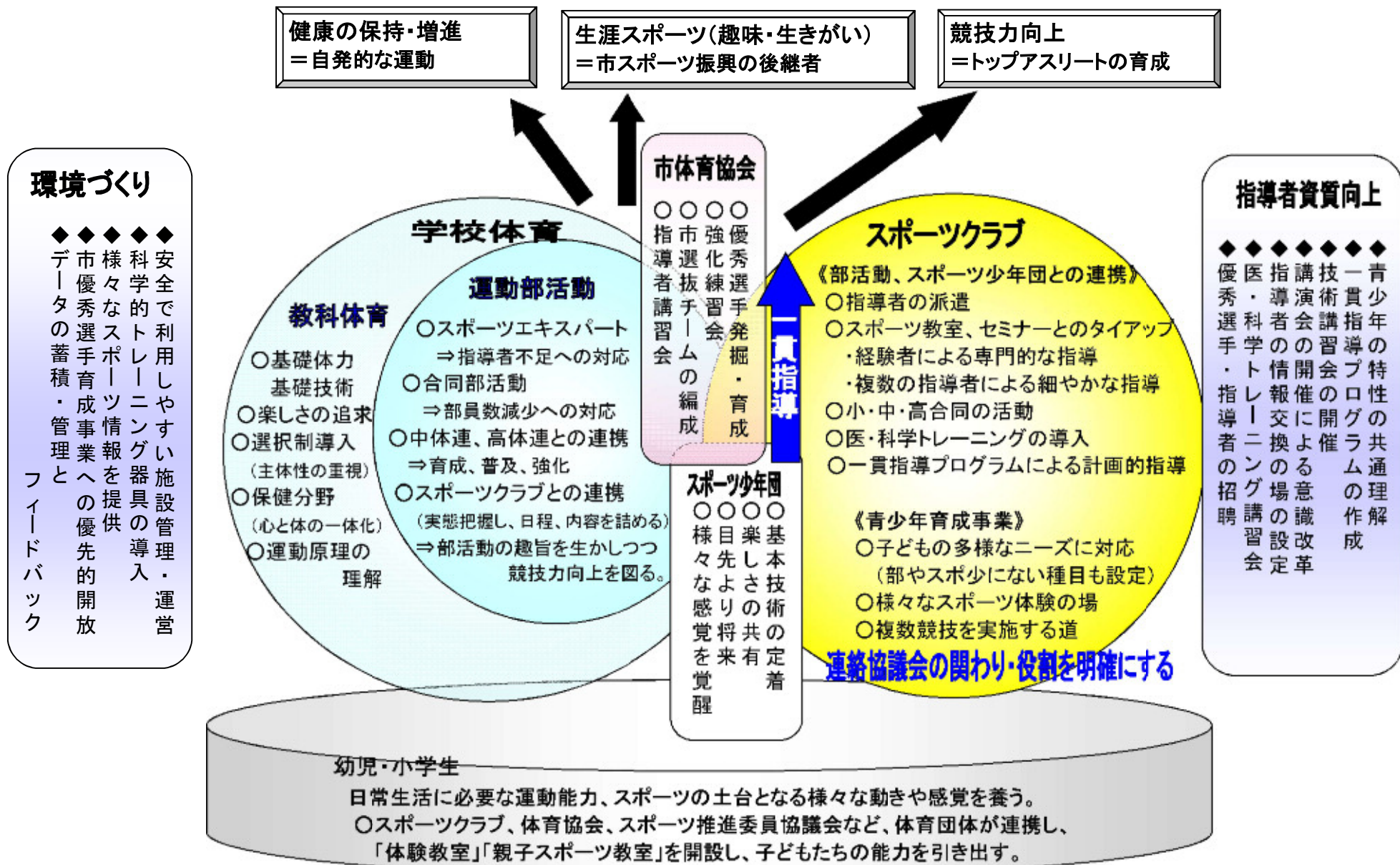
##### 3 地域で支えるスポーツ拠点づくり

地域住民の「誰もが」「いつでも」「身近なスポーツ施設で」スポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブの育成を図ります。

##### 4 チャンピオンスポーツの推進（競技力向上）

体育協会を中核とし、競技スポーツの推進と優秀選手の発掘・強化を図ります。また、競技力向上策に関わるスポーツ関係団体の育成を図ります。

## 次代を担う子どもたちの育成(イメージ図)



## 1 次代を担う子どもたちの育成

### ～ 次代を担う子どもたちの健全育成と優秀選手の育成 ～

文部科学省が行っている「体力・運動能力テスト」によると、日本の子どもの体力は、1985（昭和60）年頃から長期的に低下傾向にあるとともに、体力の高い子どもと低い子どもの格差が広がっています。

少子・高齢化がますます加速する中で、次代を担う子どもたちの体力が低下傾向にあることは、将来の明るく豊かで活力ある社会の形成にとって、極めて憂慮すべき問題です。文部科学省は、スポーツ振興計画を見直し、「スポーツ振興を通じた子どもの体力の向上方策」を第一の課題として掲げ、具体的施策を提示しています。

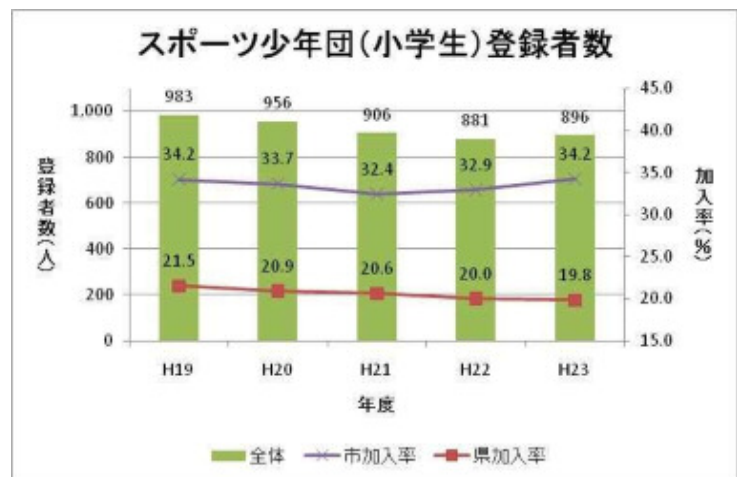
このことを受け、南砺市でも、「次代を担う子どもたちの育成」に向けた、様々な施策の展開が望まれます。

[スポーツ少年団登録状況]

#### ◆ 現状と課題

南砺市の子どもたちのスポーツ少年団への加入率は、全体として約34%（H23）と県の加入率約20%（H23）を大きく上回っています。

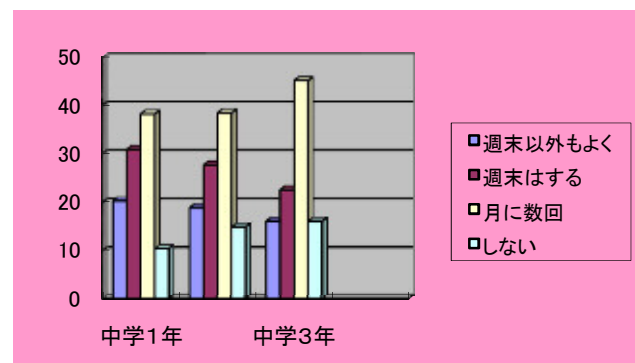
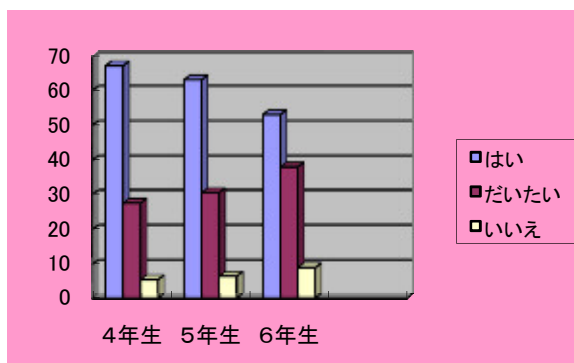
また、中学校運動部活動への加入率はさらに高く、約76%（H23）の生徒が運動部活動に所属しており、県の加入率約74%（H23）を上回っています。



これらのことから、南砺市内の小・中学生のスポーツへの関心・意欲は比較的高い傾向にあり、スポーツ少年団活動やジュニアスポーツクラブから運動部活動への移行が比較的スムーズに行われる環境にあると言えます。

【外で遊んでいますか 小学生】

【家の中以外の遊びをしますか(自主練習含む) 中学生】



[富山県ゲンキッズ作戦アンケートより 平成17年度]

一方、「外で遊んでいますか」というアンケートでは、小学生では学年が進むほど外遊びをしなくなる傾向にあり、中学生になるとさらにその傾向が強まります。中学3年生で約61%の生徒が「月に数回」または「全くしない」と答えています。

外で遊ばない原因として「塾通い」や「屋内でのゲーム遊び」等、子どもたちの価値観の変容が挙げられますが、「子どもを狙った犯罪」も影響していると思われます。

いずれにしても、現代は、大人が子どもたちに対して、安全な「遊びの場」や「スポーツの場」を意図的に提供しなければならない時代だと言えるでしょう

下の表は、南砺市内小・中学生の体力・運動能力テストの結果です。

【体力・運動能力テスト平均値一覧】 ※市平均…平成23年度 全国平均…平成22年度

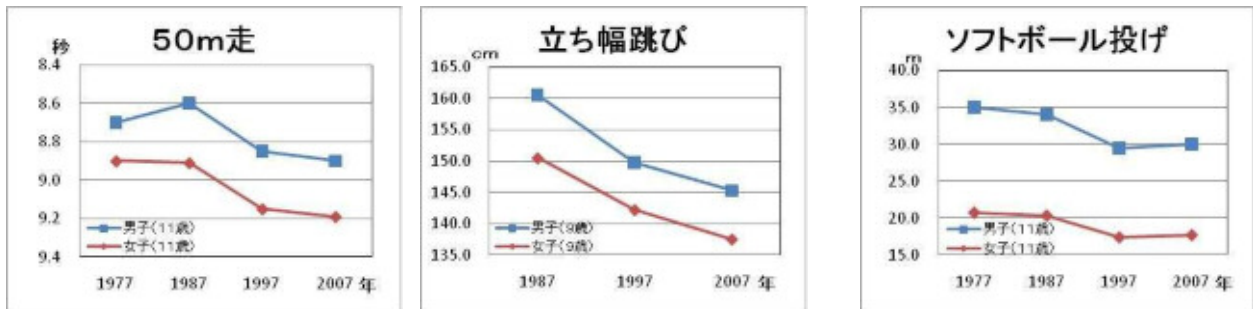
【平成23年度南砺市体力・運動能力テスト報告書参照】

| 学 年       | 小学6年生 |        |        | 中学1年 |        |        | 中学2年 |        |        | 中学3年 |        |        |
|-----------|-------|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|--------|
| 男 子       |       | 市      | 全国     |      | 市      | 全国     |      | 市      | 全国     |      | 市      | 全国     |
| 身長        |       | 144.92 | 145.00 |      | 152.56 | 152.40 |      | 159.86 | 159.70 | ◎    | 166.47 | 165.10 |
| 体重        |       | 37.70  | 38.40  |      | 44.27  | 44.10  |      | 48.28  | 49.20  |      | 53.81  | 54.40  |
| 握力        |       | 19.88  | 20.16  | ▲    | 23.52  | 24.54  | ▲    | 28.32  | 30.30  |      | 34.40  | 35.16  |
| 上体起こし     |       | 21.19  | 21.57  | ▲    | 22.80  | 23.69  |      | 26.43  | 26.74  |      | 29.29  | 29.46  |
| 長座体前屈     |       | 34.40  | 34.56  |      | 39.62  | 38.67  | △    | 42.25  | 43.64  |      | 46.08  | 46.08  |
| 反復横跳び     | ◎     | 46.90  | 45.41  | ○    | 49.19  | 48.17  |      | 52.62  | 51.76  | ◎    | 56.04  | 54.40  |
| 20mシャトルラン | ◎     | 70.32  | 62.77  | ◎    | 76.65  | 69.25  | ◎    | 93.70  | 85.49  | ◎    | 106.63 | 92.80  |
| 50m走      | △     | 9.03   | 8.90   | ▲    | 8.74   | 8.44   | ▲    | 8.11   | 7.91   | ▲    | 7.71   | 7.52   |
| 立ち幅跳び     | ◎     | 170.04 | 165.37 |      | 182.55 | 179.53 | ◎    | 201.46 | 196.52 | ◎    | 217.91 | 210.39 |
| ボール投げ     | ▲     | 28.11  | 30.57  |      | 18.66  | 18.92  | ▲    | 20.69  | 22.04  |      | 23.68  | 24.10  |
| 女 子       |       | 市      | 全国     |      | 市      | 全国     |      | 市      | 全国     |      | 市      | 全国     |
| 身長        |       | 147.43 | 146.80 |      | 152.10 | 151.90 |      | 155.12 | 155.00 | ◎    | 157.56 | 156.50 |
| 体重        |       | 39.37  | 39.00  |      | 43.60  | 43.80  |      | 46.52  | 47.30  |      | 50.29  | 50.00  |
| 握力        |       | 19.75  | 19.89  | △    | 21.22  | 21.86  |      | 23.56  | 24.01  |      | 24.88  | 25.36  |
| 上体起こし     | ◎     | 20.92  | 19.48  | ○    | 21.13  | 20.25  | ◎    | 24.20  | 22.32  | ◎    | 25.38  | 23.16  |
| 長座体前屈     |       | 39.57  | 38.91  |      | 43.05  | 42.57  |      | 43.92  | 43.93  |      | 46.20  | 46.03  |
| 反復横跳び     | ◎     | 44.85  | 42.12  | ◎    | 45.93  | 43.97  | ◎    | 47.11  | 45.71  | ◎    | 48.13  | 46.26  |
| 20mシャトルラン | ◎     | 58.53  | 48.45  | ◎    | 58.91  | 50.73  | ◎    | 67.09  | 57.64  | ◎    | 66.56  | 56.92  |
| 50m走      |       | 9.17   | 9.23   |      | 9.27   | 9.00   |      | 8.80   | 8.75   | △    | 8.84   | 8.69   |
| 立ち幅跳び     | ◎     | 161.33 | 154.61 | ◎    | 171.15 | 162.75 | ◎    | 177.73 | 168.63 | ◎    | 178.19 | 169.08 |
| ボール投げ     |       | 17.22  | 17.82  | △    | 11.67  | 12.74  | △    | 13.27  | 13.88  |      | 14.23  | 14.45  |

◎…かなり優れている ○…優れている △…劣っている ▲…かなり劣っている (T-スコアより)



この表では、南砺市の児童生徒は、全国平均と比べて優れている項目も劣っている項目もあり、全体としては全国平均とほぼ同等です。



文部科学省が1964年から全国的に実施している6歳以上を対象とした体力・運動能力調査の2007年度の結果より

しかし、上のグラフからも分かるように全国的に体力が低下していることを考えると、南砺市の子どもたちの体力も低下傾向にあると言えます。また、スポーツ少年団への加入率、運動部活動への加入率が高いにも関わらず、さほど数値が高くないということは、南砺市の子どもたちも「運動する子」と「運動しない子」の二極化傾向にあるという見方もできます。

少子化に伴う児童・生徒数の減少により、スポーツ少年団や中学部活動の中には、存続の危機におかれているところも少なくないなど、深刻な問題も数多くあり、次のことが課題として挙げられます。

- (1) 市民及び保護者への啓発
- (2) 幼児期、小学校低学年期の運動経験の確保と体力向上プログラムの実践
- (3) 地域と連携した学校体育・スポーツの充実
- (4) 指導者の派遣と研修の充実
- (5) 競技力向上への橋渡し

## ◆ 具体的施策

- (1) 市民及び保護者への啓発

「子どもの体力低下」の原因には、「都市化・生活の利便化等の生活環境の変化」「睡眠や食生活等の子どもの生活習慣の乱れ」など、様々な要因が挙げられます。

市では、「子どもの体力低下の問題」や「体力の重要性」「外遊びやスポーツの重要性」等について広く市民に啓発し、市民の正しい認識と課題意識を喚起します。

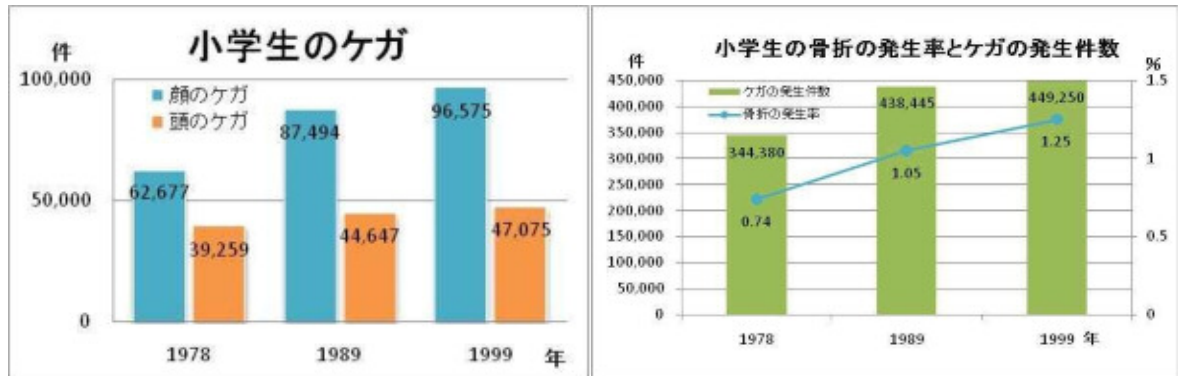
- (2) 幼児期、小学校低学年期の運動経験の確保と体力向上プログラムの実践

運動神経をはじめとする「神経系」は、幼児期、小学校低学年に急激な発達を遂げ、小学校高学年では、ほぼピークに達すると言われています。

従って、幼児期、小学校低学年には、様々な運動体験を積み、「神経回路」を生成することが大変重要であると言えます。



しかしながら、最近<sup>サンマ</sup>は子どもの遊びに必要な時間、空間、仲間（3間）の減少などの環境の変化が大きく影響し、遊びの中から自然に身に付いた様々な資質や運動感覚が低下している傾向にあります。



日本体育・学校健康センター1999年度調査結果より

このことは、体力テストのデータからはなかなか見て取れませんが、上の図からも分かるように、特にステップやバランス感覚の低下が原因と見られる顔・頭のけがや骨折が増加傾向にあります。

従って、大人が「運動体験の場」や「遊びの場」を提供し、意図的、計画的に子どもたちの「運動神経生成」を支援する必要があります。

- 総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員と連携し、幼児期及び小学校低学年期の子どもたち対象の「スポーツ体験教室」「親子スポーツ教室」を支援します。
- 幼児期、小学校低学年に有効な運動メニューの情報を収集し、積極的に関係団体に紹介します。



### (3) 地域と連携した学校体育・スポーツの充実

スポーツ少年団活動や運動部活動に次のような問題が生じています。

- ・ 「運動好き」と「運動嫌い」の二極化が進み、スポーツ少年団や運動部活動への加入率が減少傾向にある。
- ・ 少子化に伴う児童生徒の減少により、団員数、部員数が減少している。
- ・ 早くから一つの競技に絞るため、その競技に必要な資質や能力は養われるが、それらの土台となる様々な神経や感覚が定着しない。
- ・ 勝利至上主義的傾向が見られ、子どもたちへの体力的、精神的負担が大きくなっている。
- ・ 運動部活動では、指導者の減少などから、子どもに寄り添った指導となりにくい面がある。また、競技経験のない顧問も多く、技術指導力に欠ける場合もある。

このような状況に適切に対応するためには、学校と地域が一体となって児童生徒のスポーツ活動を充実させることが必要となります。

市として、地域のスポーツ活動との積極的な連携を推進します。

① 子どもの多様なニーズに対応した「スポーツ教室・セミナー」の支援

- ・ 「チャンピオン志向」「エンジョイ志向」「健康づくり」など、子どもたちが自分のニーズに応じてスポーツを選択できるよう、総合型地域スポーツクラブをはじめとする各スポーツ団体に、「場の設定（教室開催）」についてはたらきかけます。
- ・ 子どもたちが、複数の種目・競技に親しめるよう支援します。
- ・ 学校の部活動にない場合でも、体育協会競技団体や総合型地域スポーツクラブが連携し、「プログラム」を開設するようはたらきかけます。

② 「スポーツ少年団」の育成

「一貫指導プログラム」に即し、「基礎・基本の定着」「スポーツの特性や楽しさに触れることの重視」「目先の勝利にとらわれず、将来必要な能力や資質を養うこと」「バラエティあふれる活動の中で様々な資質を養うこと」等に配慮しながら、子どもたちの健全育成に努めるようはたらきかけます。

③ 合同部活動の支援

部員数の減少等でチーム編成ができない場合には、「合同部活動」を支援し、子どもたちの大会参加の機会を保障するとともに、高校部活動や成年スポーツにつなげるようにします。

④ 運動部活動と総合型地域スポーツクラブとの積極的な連携の推奨

南砺市内には8つの総合型地域スポーツクラブがあり、それぞれのクラブが地域の中学校の運動部活動と連携することで、「競技の普及」「選手の育成」「競技力向上」に貢献することが可能となります。

また、平成20年改定の学習指導要領では、部活動については「学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、地域や学校の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行うようにすること。」と明記されました。

このことから、運動部活動の趣旨や目標を大切にしながら、総合型地域スポーツクラブが補完する形で連携できるよう支援します。（運動部活動と総合型地域スポーツクラブの両方への加入を認め、育成と強化の両面で機能するよう支援します。）

※ 競技力向上ばかりに目を奪われるのではなく、学校体育と連携しながら、子どもたちの「健康な生活」や「生涯スポーツ（生涯にわたり、スポーツに親しもうとする姿勢）」に結びつけるよう支援することも大切です。

#### (4) 指導者の派遣と研修の充実

##### ① 指導者の派遣と研修

小学校の総合運動部活動、中学校の運動部活動における専門的・科学的指導の充実のため、地域の優秀な指導者の学校教育への活用を推進し支援します。（県スポーツエキスパート事業等を受けて）

また、教科体育はもとより、運動部活動も重要な教育活動であることを踏まえ、これらの指導に携わる地域の指導者が受ける研修機会を設けるように努めます。

##### ② 一貫指導の研究

一貫指導システムの構築に向け、「一貫指導プログラムの策定」「指導マニュアルの作成」等に関する情報を、各スポーツ団体に積極的に提供するとともに、指導者同士の話し合いの場を設けるなど、その実現に向けて努力します。

#### (5) 競技力向上への橋渡し

競技力向上に関しては、南砺市体育協会がその中核を担います。様々な運動体験を積んだ子どもたちの中から、より高い競技性を目指す子どもたちが育ち、さらに競技力向上事業を経てトップレベルの競技者が育成されれば理想的です。

##### ① 南砺市優秀選手育成への支援

南砺市の競技力向上を担うであろう将来性豊かな選手を発掘し、レベルの高い指導を施すことで優秀選手を支援し、選手のさらなるレベルアップを目指します。

##### ② 医・科学トレーニングの導入

積極的に医・科学トレーニングを推進し、選手の育成・強化を目指します。

##### ③ 小・中・高合同活動の支援

小・中・高合同活動など異年齢集団による活動を支援し、より高い目標に向かってまい進する子どもの育成を目指します。





コミュニティスポーツ  
(生活の中のスポーツ) のイメージ図

楽しさ 生きがい 健康 自己実現 感動 コミュニケーション

環境づくり

- 学校体育施設開放
- 高齢者等、誰でも気軽に利用できるよう、施設を整備
- 施設予約システムの整備、簡略化
- サービスの向上

1週間に1回は運動しよう！

総合型地域スポーツクラブ

健康を保持・増進するための様々なスポーツ教室、イベントの開催

多世代(誰でも)  
多目(関心に応じ)  
一貫指導(効率的に)  
拠点施設(継続的に)  
自主運営(みんなのニーズ)  
受益者負担(多くのメリット)

子どもたちの健全育成  
様々なスポーツ体験の場の提供  
一貫指導による競技力向上

コミュニケーションの場  
・仲間作り  
・憩いの場  
・つながりの場

個性や趣味、関心に応じて参加できるスポーツ教室・イベントの開催

指導者や講師の発掘・育成  
スポーツボランティアの有効活用

アウトドアスポーツの推進  
スキー、ボート  
クライミング等

体育協会(地域)

地域住民が気軽に参加できる、スポーツイベントの開催

地域の特性を生かし、地域のスポーツ振興を目的としたスポーツイベントの開催

地域体育団体のスポーツ教室、交流ゲーム

公民館行事

地域運動会  
公民館、地区単位の軽スポーツ

チャレンジデー  
目指せ60%  
スポーツ習慣のきっかけ

ふくのスポーツクラブ  
アイウェーブ  
クラブJoy  
いのくちスポーツクラブ  
だいらスポーツクラブ  
旭光スポーツクラブ  
五箇山スポーツクラブ  
利賀スポーツクラブ  
クラブ連絡協議会

スポーツ推進委員がコーディネーター役

## 2 コミュニティスポーツの推進

～誰もが自分のライフスタイルに応じてスポーツやレクリエーションに親しむ  
ことのできる環境づくり～

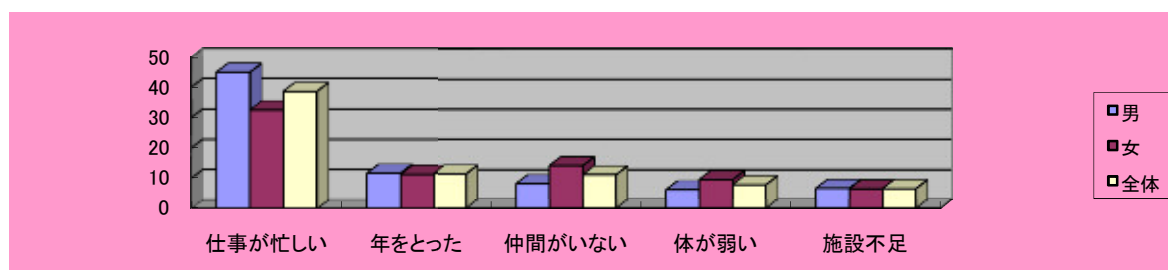
### ◆ 現状と課題

科学技術等の発達により、我々の生活は便利で豊かなものとなりました。しかし、その便利さが慢性的な運動不足や様々な病気につながっている面も見られ、社会的問題となっています。こうした中、意図的、計画的なスポーツ振興策の推進が従来にも増して重要視されています。

2005（平成17）年秋、南砺市民を対象に、スポーツの実施状況に関するアンケートを実施しました。多くの市民は、「スポーツは大切である」「スポーツに親しみたい」と感じながら、半数以上の方が「実際にはなかなか思うようにスポーツに取り組めない」と答えています。

「なかなかスポーツに取り組めない主な理由」は下の《グラフ1》のとおりです。

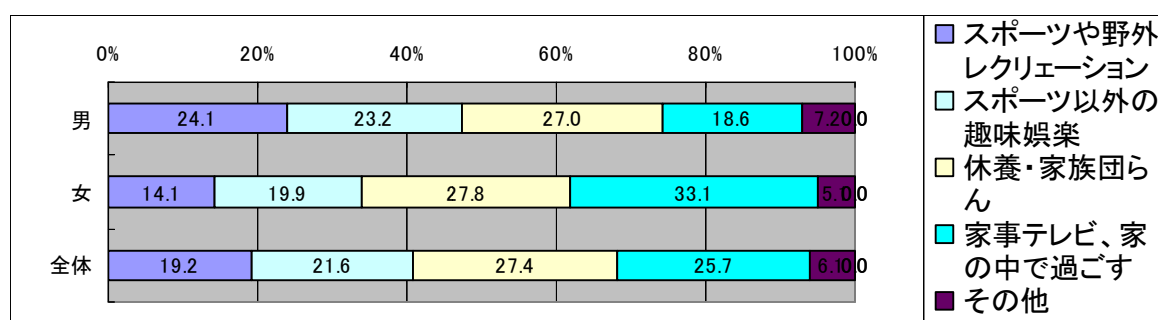
《グラフ1・・スポーツに取り組めない理由》



取り組めなかった理由として、「仕事が忙しく、時間がない」が圧倒的に多く、中には「年をとった」「仲間がいない」という意見もありました。

一方、「休日や自由な時間をどのように過ごしていますか？・・《グラフ2》」という問いには、合わせて50%以上の市民が「休養・家族団らん」「家の中で過ごす」と答えており、「積極的にスポーツや野外レクリエーション」に取り組んでいる市民は20%以下でした。

《グラフ2・・休日や自由な時間をどのように過ごしていますか？》



アンケートの結果より、次のことが課題として挙げられます。

- (1) 市民の誰もが、目的や能力、好みに応じて、気軽に参加できるスポーツ事業の展開
- (2) 健康づくりを視野に入れたスポーツ事業の展開
- (3) 高齢者の活躍できるスポーツ事業の展開
- (4) コミュニケーションの場としてのスポーツ事業の展開
- (5) 南砺市の地理的特徴を生かしたアウトドアスポーツ事業の展開
- (6) スポーツ情報の収集と提供、「文化としてのスポーツ」の確立

## ◆ 具体的施策

- (1) 市民の誰もが、目的や能力、好みに応じて、気軽に参加できるスポーツ事業の展開

スポーツの楽しさや役割は多種多様であり、その必要性は多くの人が認めているところです。市民一人ひとりが、国や世代、性別、障がいの有無等を問わず、生涯にわたって心身ともに健康で心豊かな生活を営むためには、スポーツを市民の生活の中に定着させていく必要があります。

そのために、市民の「誰もが」「それぞれの目的や能力、好みに応じ」「身近なスポーツ施設で」「気軽に」スポーツに親しめるような環境づくりが重要な施策となります。

- 総合型地域スポーツクラブや体育協会、スポーツ推進委員協議会など、各スポーツ団体の、「市民のスポーツ推進」における役割を明確にします。
- 各スポーツ団体が、それぞれの役割を担い、特性を発揮して、「市民のスポーツ推進」に寄与できるよう支援します。
- 各スポーツ団体が、互いに連携して事業が展開できるよう連絡・調整を図ります。

- (2) 健康づくりを視野に入れたスポーツ事業の展開

生活習慣病の増加、若年齢化が社会的な問題となっており、その解決策として、「スポーツ」がますます重要視されています。

- スポーツの意義、効能について広報活動を展開し、市民の「スポーツ意欲」の向上を図ります。
- 「生涯スポーツ推進の手引き ウォーキングマップ、とやまのウォーキングコース」を活用し、誰でも気軽に「ウォーキング」ができる環境づくりを目指します。
- 各スポーツ団体と連携し、「ほっとあっとなんと体操」の普及などによる「軽体操」「健康体操」の推進を図ります。

- (3) 高齢者の活躍できるスポーツ事業の展開

高齢社会の中で、高齢者が生き生きと健康で明るく生活できる環境づくりが急務となっており、「スポーツ」の果たす役割も大きいと言えます。各関係機関・団体と連携を図り、「高齢者のスポーツ推進」を図ります。

- 各スポーツ団体と連携し、高齢者が気軽に参加・体験できる「健康づくり」の場を提供できるよう支援します。

- 「ゲートボール」「ペタンク」「パークゴルフ」等のスポーツ事業の実施を推進します。
- 3世代交流会等を推進し、高齢者が地域の指導者として生き生きと活動できるよう支援します。

#### (4) コミュニケーションの場としてのスポーツ事業の展開

スポーツに対する市民のニーズが多種多様であることは、先にも述べましたが、「スポーツを通じた人と人との交流」も大きなニーズの一つです。市民にとって、スポーツが「憩いの場」「ふれあいの場」となるための環境づくりが求められるところです。

そのことが地域振興、さらには市の活性化につながることも期待されます。

- 体育施設が市民にとって「憩いの場」となるよう、設備の充実に努めます。
- 地域のスポーツ情報が常に掲示されるなど、スポーツ環境の整備に努めます。
- 総合型地域スポーツクラブが「地域振興の拠点」となるよう支援します。

#### (5) 南砺市の地理的特徴を生かしたアウトドアスポーツ事業の展開

南砺市には、スキー場、クライミング施設、ボート場をはじめとし、多くのアウトドアスポーツ施設があります。また、豊かな自然に恵まれ、自由に散策やトレッキングが楽しめます。

こうした南砺市の特徴（環境の良さ）を活かしたスポーツ推進のひとつに、アウトドアスポーツの推進が挙げられます。

- 様々なアウトドアスポーツの大会を招致し、南砺市が「アウトドアスポーツのメッカ」となるよう支援します。
- 各競技団体と連携して、市民が参加・体験できる大会や教室の開催を推進し、市民のアウトドアスポーツへの理解と関心が深まるよう支援します。

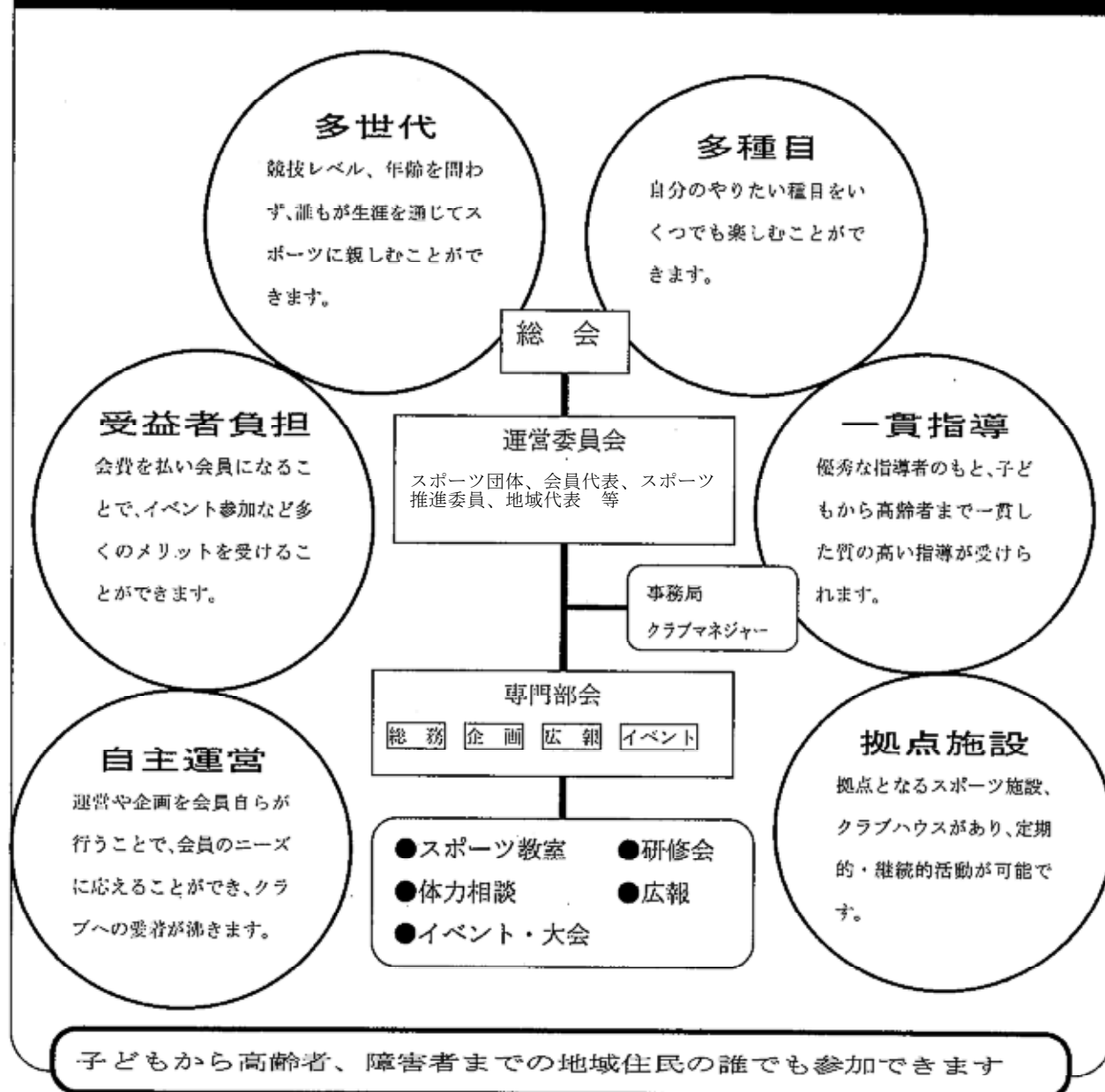
#### (6) スポーツ情報の収集と提供、「文化としてのスポーツ」の定着

インターネットの普及をはじめとするマスメディアの発達により、誰でも気軽に知りたい情報を入手できるようになりました。スポーツに関しても、より早く、より多く、より多角的に情報を提供し、スポーツへの関心度が高まるよう支援する必要があります。

- 「スポーツ施設」「スポーツイベント」「スポーツ事業」等、スポーツへの参加機会に関する情報を収集・整理し、「広報なんと」やケーブルテレビ、インターネット等の媒体を介して、広く市民にお知らせします。
- 「指導者の情報」や「研修会」「スポーツ医・科学」等、スポーツに携わる方々の資質向上に関する情報を収集・整理し、広く市民に提供します。
- 南砺市ホームページを利用した施設予約確認システムを利用者の要望に応じて改善していきます。
- 家庭でもできる「軽スポーツ」や「スポーツ豆知識」などを市民に紹介します。

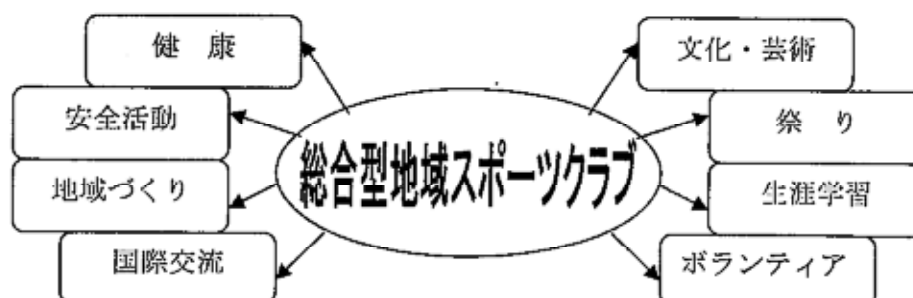
# 地域で支えるスポーツ拠点づくり

## 南砺市がめざす総合型地域スポーツクラブ



## 総合型地域スポーツクラブは、重要な社会基盤となります

総合型地域スポーツクラブは、スポーツを核としながら、地域振興にも大きく寄与します。



### 3 地域で支えるスポーツ拠点づくり ～ 総合型地域スポーツクラブの育成 ～

#### 総合型地域スポーツクラブとは・・

市民の「誰もが」「身近な公共スポーツ施設で」「それぞれのライフスタイル（目的、能力、好み）に応じて」スポーツに親しむことができるよう、「環境」・「人」・「プログラム」を統合して運営される組織が「総合型地域スポーツクラブ」です。

「総合型地域スポーツクラブ」は、「コミュニティスポーツの推進」はもちろんのこと、「競技力向上」や「子どもたちの育成」にも大きな役割を担っており、「生涯スポーツ社会」の実現に向けて大きな期待が寄せられています。

また、スポーツ活動の推進役だけでなく、「地域活動」や「地域交流」「ボランティア活動」の主体としても活躍が期待され、地域活性化の大きな基盤となっています。

総合型地域スポーツクラブは、地域住民が主体的に運営する地域住民のためのスポーツクラブで、次のような特徴があります。

- 複数の種目が用意されている。（多種目）
- 子どもから高齢者、初心者からトップレベルの選手まで、地域の誰もが、年齢や興味関心、技術・技能レベルに応じて、「いつまでも」活動できる。（多世代、一貫指導）
- 拠点となるスポーツ施設があり、定期的・継続的な活動が可能である。（拠点施設）
- 質の高い指導者のもと、個々のスポーツニーズに応じた指導が行われる。
- 地域住民が主体的に運営する。（自主運営、受益者負担）

#### ◆ 現状と課題

南砺市には、8つの総合型地域スポーツクラブが設立されています。

| クラブ名                      | 設立年月   | 拠点施設<br>(指：指定管理者) |
|---------------------------|--------|-------------------|
| NPO 法人ふくのスポーツクラブ          | H10.11 | 福野体育館（指）          |
| NPO 法人福光スポーツクラブ           | H15. 5 | 福光体育館（指）          |
| NPO 法人井波文化・スポーツクラブ アイウェーブ | H15. 6 | 井波社会体育館（指）        |
| NPO 法人クラブ J o y           | H16. 3 | 城南屋内グラウンド（指）      |
| たいらスポーツクラブ                | H17. 3 | 平小体育館             |
| 利賀スポーツクラブ                 | H17. 3 | アーパス              |
| いのくちスポーツクラブ               | H17. 3 | 井口中学校体育館          |
| 五箇山スポーツクラブ                | H18. 2 | 上平小体育館            |

H24.3.1 現在

2012（平成24）年度現在、旧村のクラブは、市の補助金を活用して運営を行っていますが、近い将来は、補助金に頼らず、会費や受講料等で運営する（自立）ことが必要となり、次のことが課題として挙げられます。

（1）自立に向けての支援体制の整備・充実

（2）一体的な取り組みの推進

- ・地域住民はもとより、地域スポーツ団体、学校、行政等が一体となった取り組み
- ・「南砺市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」の取り組み

◆ 具体的施策

（1）自立に向けての支援体制の整備・充実

各スポーツクラブが自主的、自立的に運営できるためには、「会員の増加」「資金の確保」「指導者の発掘・育成」「運営組織の整備・強化」「クラブマネジャーの育成」「拠点施設の充実」等が重要なポイントとなります。

① 広域スポーツセンターとの連携

県では、総合型地域スポーツクラブの育成・定着を支援する組織として、県総合体育センター内に「広域スポーツセンター」を設置しています。これまでも、県内の総合型スポーツクラブに対し、「普及・啓発」「情報提供」「運営ノウハウ提供」「有資格指導者の派遣」「クラブマネジャー養成」などの支援を行っていますが、今後も継続して支援が受けられるよう連携強化を図ります。

② 先進スポーツクラブとの交流

既に自立して運営しているクラブの視察を行い、「運営ノウハウ」の研修を行うとともに、南砺市内のクラブに有益な情報を提供します。

③ 指定管理者制度の活用

市から施設管理を指定されたクラブを対象に、市民に親しまれ、有効利用される施設を目指した管理運営研修会を開催するなど、市民サービスの向上に努めます。

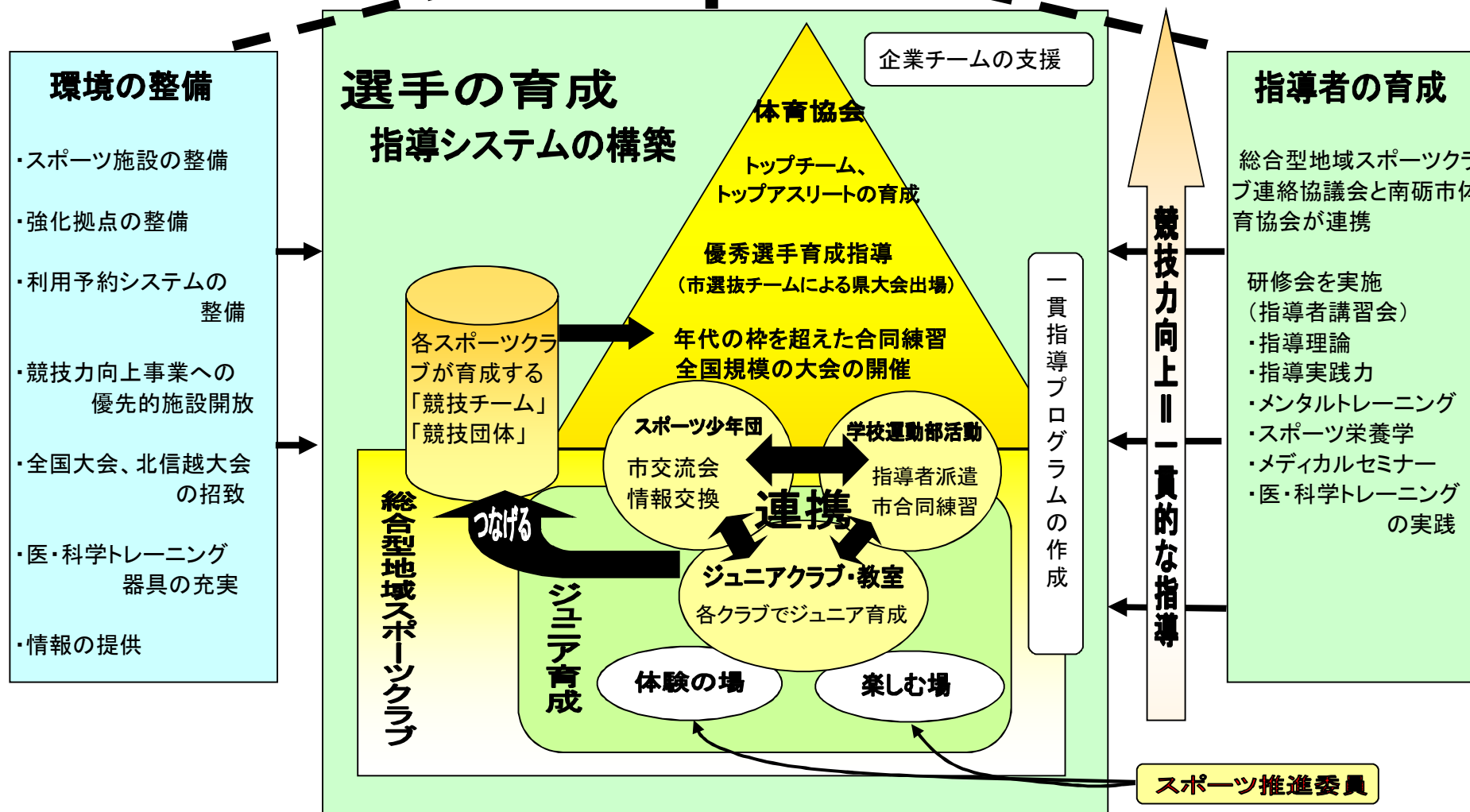
（2）一体的な取り組みの推進

各地域のスポーツクラブが、地域住民の信頼を獲得し、「会員増加」につなげていくためには、総合型地域スポーツクラブの役割や価値、効果等について、住民の理解を得ることが必要となります。

- 各クラブが地域のスポーツ団体（体育協会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団等）をはじめ、学校、行政と連携し、一体となって活動するよう支援します。
- 南砺市総合型スポーツクラブ連絡協議会が中核となって、「各クラブ合同事業」や「合同研修会」を開設し、より広域的に活動するよう支援します。

# チャンピオンスポーツ(競技力向上)イメージ図

世界・日本で活躍する選手の育成  
(オリンピック選手、国体選手)





#### 4 チャンピオンスポーツの推進（競技力向上）

##### ～ 競技スポーツの推進と優秀選手の発掘・強化、スポーツ団体の育成 ～

#### ◆ 現状と課題

南砺市合併前は、それぞれの地域のスポーツ団体が、行政と連携を図りながら各競技団体の育成や競技大会の開催等、競技スポーツの普及・推進に努めてきました。中でも、体育協会が、その中核的役割を果たし、各地域で特色ある普及・強化策を展開してきました。

南砺市として、これまでの各地域での成果を継続、発展させながら、一方では、各地域の成果を南砺市全体に広め、競技スポーツの推進に努めていく必要があります。

そうした使命を受け、2005（平成17）年4月9日に「南砺市体育協会」が設立されました。この体育協会の設立により、組織的で計画的な「競技スポーツの推進」「優秀選手の発掘・強化」「スポーツ関係団体の育成」が可能となっています。

今後は、体育協会の役割を明確にし、他団体や企業とも連携を図りながら、競技力向上策を展開していく必要があります。

課題としては、次のことが挙げられます。

- (1) 体育協会の役割の明確化と共通理解
- (2) 「一貫指導システム」の構築及びプログラムの策定、「長期的普及計画」の作成・実践
- (3) 他のスポーツ団体との連携と効率的・体系的な競技力向上策
- (4) 優秀な指導者の育成と指導者の資質向上、医・科学トレーニングの積極的導入
- (5) 体育施設の有効利用と活動拠点づくり、施設と連携した継続的な強化策
- (6) 企業スポーツとの相互支援

#### ◆ 具体的施策

- (1) 体育協会の役割の明確化と共通理解

- |           |                                                                                                                                                                                 |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 《体育協会の役割》 | <ul style="list-style-type: none"><li>○競技力の維持・向上</li><li>○スポーツの普及・振興</li><li>○体系的・継続的な強化・普及の推進</li><li>○指導者の養成・確保、資質の向上</li><li>○スポーツ少年団の健全育成活動の充実</li><li>○各種体育大会の充実</li></ul> |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

役割を明確に打ち出し、各競技団体、協会の共通理解を図るとともに、長期的な視野、全市的視野に立った活動となるよう支援していくことが大切です。

(2) 「一貫指導システム」の構築及びプログラムの策定、「長期的普及計画」の作成・実践

競技力向上、優秀選手育成をより効率的・効果的に行うためには、小学生、中学生、高校生、成年の各世代の発達段階を考慮した「一貫指導システム」の構築が必要となります。また、「一貫指導プログラム」を作成することで、各指導者が共通の認識に立って指導することが可能となり、より成果を上げることができると考えられます。

一方、各競技・スポーツが普及・定着していくためには、「長期的展望」に立った継続的な普及策が望まれます。

- 中央競技団体が策定を進めている「競技者育成プログラム」等を参考に、競技団体に対し、南砺市の実態を踏まえた「一貫指導プログラム」を策定するよう促します。

また、そのための資料や情報を提供し支援します。

- 「一貫指導システム」の構築により、成果を挙げている競技団体のノウハウをまとめ、他の競技団体にも紹介します。
- 「長期的普及計画」の作成を促すとともに、その作成と実践に対し支援します。
- 「一貫指導プログラム」による競技力向上事業及び、「長期的普及計画」によるスポーツ普及事業に対し積極的に支援します。

(3) 他のスポーツ団体との連携と効率的・体系的な競技力向上策

「競技力向上策」に関しては、体育協会がその中心的な役割を果たすことは言うまでもありませんが、他のスポーツ団体と連携することで、より効率的・体系的に推進することができます。

- 体育協会と「総合型地域スポーツクラブ」「スポーツ少年団」「中体連（運動部活動）」が互いに情報交換を行い、連携して競技力向上に努めるよう支援します。
- 指導者講習会や各種研修会、講演会等に、各スポーツ団体から参加できるようにたらしめます。
- 県の強化指定制度等と連携し、トップレベルの競技者の育成に努めます。

(4) 優秀な指導者の育成と指導者の資質向上、医・科学トレーニングの積極的導入

優秀な選手育成のためには、「心」「技」「体」三者のバランスのとれた指導、科学的理論に基づいた効率的な指導が必要となります。従って、優秀な選手育成のためには、まず、指導者の育成・資質向上が不可欠となります。

- 国や県で開催される研修会等への派遣を計画的に実施し、指導者の資質向上に努めます。
- 最先端の技術や効果的な指導方法についての研修を深めるため、県内外の優秀指導者の招聘に努めます。
- 医・科学トレーニングに関する研修会を積極的に開催し、指導者の資質向上に努めるとともに、効率的な強化策を支援します。
- 運動部活動における競技力向上のため、学校の運動部活動に、地域の優秀な指導

者の派遣を推進し支援します。

(5) 体育施設の有効利用と活動拠点づくり、施設と連携した継続的な強化策

競技力向上については、市内の体育施設を有効に活用することが必要ですが、各競技団体が、活動の拠点となる体育施設をもつことにより、定期的で継続的な強化事業の展開が可能となり、より高い効果が期待できます。

- 医・科学トレーニング器具の配置等、体育施設の設備充実について支援します。
- 競技力向上事業に係る活動拠点づくりに関し、競技の特性や活動状況等を踏まえながら、一貫指導の拠点となりうる体育施設との連絡・調整を行います。
- 県総合体育センターでの「医・科学トレーニング」「スポーツ相談」について、情報を提供し支援します。
- 全国大会、北信越大会等、トップレベルの大会を積極的に招致し、トップレベルの競技者の技術・戦術に間近で触れられるようにします。

**※ 大会等のイベント案内や結果情報について、いち早く広報活動を行い、市民の興味・関心を高めるよう支援します。**

(6) 企業スポーツとの相互支援

身近な企業が、独自の財源を活かし、チャンピオンスポーツの観点からスポーツ振興に取り組むことは、南砺市の競技力向上に大いに寄与するだけでなく、市民に夢や感動を与え、市全体の活力を醸成します。

市では、企業選手や企業チームを支援するとともに、強化策（指導のポイントやノウハウ）についての情報交換を行ったり、選手の交流を行ったりしながら、互いに切磋琢磨していくようはたらきかけます。

また、「支えるスポーツ」の観点から、各種大会の開催や競技力向上策の実践に対する協力・支援を各企業にはたらきかけます。



## 第 V 章 施策概要一覧

### ◆ 基盤的施策

#### 1 環境づくり

| 施 策 項 目              | 主 な 施 策 概 要                                                  |
|----------------------|--------------------------------------------------------------|
| (1) 市営スポーツ施設・設備の質的充実 |                                                              |
| ① 施設の充実              | ○ 老朽化施設の計画的な整備                                               |
| ② 最大限の機能発揮           | ○ より快適なスポーツ環境の提供                                             |
| ③ アウトドアスポーツ施設の充実     | ○ アウトドアスポーツ施設の整備と有効利用                                        |
| (2) 学校体育施設の整備と利用の促進  |                                                              |
| ① 施設の充実              | ○ 老朽化施設の計画的な整備                                               |
| ② 設備の充実              | ○ 設備及び備品の計画的な整備                                              |
| ③ 利用促進               | ○ 利用者のニーズに応じた開放日、開放時間の見直し                                    |
| ④ 管理・運営体制の見直し        | ○ 利用団体による主体的な管理運営体制の確立                                       |
| (3) 民間スポーツ施設との連携     |                                                              |
| ○ 総合型地域スポーツクラブとの連携   | ○ 民間スポーツ施設の有効利用、インストラクターの派遣事業                                |
| (4) 管理・運営体制の改善       |                                                              |
| ① 利用ニーズに応じた開館業務      | ○ 開館日、開館時間帯の見直し、利用申込手順の改善                                    |
| ② 施設管理・運営の民間委託       | ○ 民間活力を最大限に活かした合理的な管理・運営                                     |
| ③ 研修の充実              | ○ 施設管理体制、運営方法の研修の充実                                          |
| ④ 受益者負担による合理的な運営     | ○ 施設利用料等に関する調査・研究<br>公平で安定した管理・運営                            |
| (5) スポーツ情報の提供        |                                                              |
| ① スポーツ情報提供の充実        | ○ 情報の早期収集<br>情報誌、ホームページ、ケーブルテレビ等の媒体を通じた情報提供                  |
| ② スポーツ情報のネットワーク化     | ○ 南砺市ホームページを利用した施設予約確認システム<br>スポーツ医・科学情報の提供<br>「スポーツ相談窓口」の開設 |

## 2 人 づ く り

| 施 策 項 目                     | 主 な 施 策 概 要                                                                       |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>（１）スポーツ指導者の養成</b>        |                                                                                   |
| ① コミュニティスポーツ指導者の養成          | ○ コミュニティスポーツ指導者の資質向上                                                              |
| ② チャンピオンスポーツ指導者の養成          | ○ 一貫指導体制の構築とトップレベルの競技者育成                                                          |
| ③ 運動部活動指導教員の資質の向上           | ○ 運動部活動指導教員の指導力向上                                                                 |
| ④ スポーツ推進委員の資質の向上            | ○ 南砺市スポーツ推進委員協議会の活動支援<br>スポーツニーズを敏感に捉えたスポーツ振興                                     |
| ⑤ アウトドアスポーツ指導者の養成           | ○ 安全で正しいアウトドアスポーツの知識・技術、自然との共生、関わり方の指導ができる指導者の養成                                  |
| ⑥ スポーツボランティアの育成と確保          | ○ 「支える（育てる）スポーツ」の側面の重視とスポーツボランティア登録制度の確立                                          |
| ⑦ 各種指導者の養成及び<br>資質向上のための研修会 | ○ ①～⑥の指導者養成、資質向上のための各種研修会の開催及び支援                                                  |
| <b>（２）スポーツ団体の育成と支援</b>      |                                                                                   |
| ① 南砺市体育協会                   | ○ 事務局体制の充実、組織確立のための支援<br>○ 一貫指導システムの構築、他団体との連携に関する指導助言<br>○ 指導者の資質向上のための各種研修会の開催  |
| ② 南砺市スポーツ少年団                | ○ 指導者研修会・講習会及び各種交流大会の開催支援<br>○ 各種スポーツ団体との連携促進                                     |
| ③ 総合型地域スポーツクラブ              | ○ 各スポーツクラブの自主的・自立的運営のための支援<br>○ 県広域スポーツセンターとの連携促進<br>○ 南砺市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の活動の支援 |
| ④ 南砺市中学校体育連盟                | ○ 運動部活動指導者の指導力向上のための、情報交換及び研修会の開催支援<br>○ 各スポーツ団体との連携促進（地域指導者の派遣）<br>○ 複数校合同部活動の支援 |

### 3 プログラムづくり

| 施 策 項 目                   | 主 な 施 策 概 要                                                                           |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) スポーツ参加機会の拡充           |                                                                                       |
| ① スポーツ大会・イベントの充実          | ○ 「市民体育大会」「各種アウトドアスポーツ大会」「各地域でのスポーツ・レクリエーション大会」の推進                                    |
| ② スポーツ教室・セミナーの充実          | ○ 子どもたちの体力向上「スポーツ教室・セミナー」の支援<br>○ 成・壮年層対象の「スポーツ教室・セミナー」の開催<br>○ 高齢者対象の「活動プログラム」の作成・普及 |
| ③ 全国大会などへの参加の支援           | ○ 全国大会、北信越大会出場選手への支援                                                                  |
| ④ スポーツを通じた交流事業の推進         | ○ スポーツ交流事業の全市的展開の推進                                                                   |
| (2) スポーツ大会の誘致・開催支援        |                                                                                       |
| ① トップレベルのスポーツ大会誘致         | ○ 全国的スポーツ大会・イベントの誘致開催と支援                                                              |
| ② 市が一体となった大会運営            | ○ 「支える(育てる)」の組織・体制づくり<br>○ 主催者、行政、ボランティアが一体となった運営推進                                   |
| (3) スポーツ医・科学の活用           |                                                                                       |
| ① 医・科学トレーニングの推進と<br>情報の提供 | ○ 県総合体育センターや専門研究機関との連携<br>○ 医・科学トレーニングに関する研修会の開催<br>○ 科学的トレーニング、メンタルトレーニングの指針         |
| ② 健康・体力相談、<br>トレーニング相談の拡充 | ○ スポーツドクター、トレーナー、専門研究者との連携<br>○ 健康・体力相談、トレーニング相談の充実                                   |
| ③ スポーツ安全対策の推進             | ○ スポーツ事故の防止、応急処置、法的責任等に関する研修機会の充実<br>○ スポーツ傷害保険等への加入推奨                                |

◆ 重点施策

1 次代を担う子どもたちの育成

| 施策項目                                 | 主な施策概要                                                                           |
|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 市民及び保護者への啓発                      |                                                                                  |
|                                      | ○ 「子どもの体力低下問題」「体力の重要性」についての啓発、課題意識の喚起                                            |
| (2) 幼児期、小学校低学年期の運動経験の確保と体力向上プログラムの実践 |                                                                                  |
|                                      | ○ 総合型地域スポーツクラブ、体育協会を中心とした、子ども対象の「スポーツ教室」「親子教室」の開催支援<br>○ 運動メニューの情報収集と各スポーツ団体への紹介 |
| (3) 地域と連携した学校体育・スポーツの充実              |                                                                                  |
| ① 子どもの多様なニーズに対応した「スポーツ教室・セミナー」の支援    | ○ 「チャンピオン志向」「エンジョイ志向」等に応じて子どもたちが選択できる「スポーツ教室・セミナー」の開催支援<br>○ 複数種目に親しむことができる体制づくり |
| ② スポーツ少年団の育成                         | ○ 一貫指導プログラムに即した健全育成の推進                                                           |
| ③ 合同部活動の支援                           | ○ 合同チームによる大会参加機会の拡充支援                                                            |
| ④ 運動部活動と総合型地域スポーツクラブとの積極的な連携の推奨      | ○ 総合型地域スポーツクラブと運動部活動との連携支援<br>「競技普及」「選手育成」「競技力向上」                                |
| (4) 指導者の派遣と研修の充実                     |                                                                                  |
| ① 指導者の派遣と研修                          | ○ 地域の優秀な指導者の学校教育への活用支援                                                           |
| ② 一貫指導の研究                            | ○ 「一貫指導プログラムの策定」「指導マニュアル作成」に関わる情報提供と促進                                           |
| (5) 競技力向上への橋渡し                       |                                                                                  |
| ① 南砺市優秀選手育成事業への支援                    | ○ 将来性豊かな選手への、高次の指導によるトップレベルの選手育成                                                 |
| ② 医・科学トレーニングの導入                      | ○ より効率の良い選手育成、強化策の推進                                                             |
| ③ 小・中・高合同活動の支援                       | ○ 異年齢集団の活動支援による技能と意識の高揚                                                          |



## 2 コミュニティスポーツの推進

| 施 策 項 目                                   | 主 な 施 策 概 要                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 市民の誰もが、目的や能力、好みに応じて、気軽に参加できるスポーツ事業の展開 |                                                                                                                                                                      |
|                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各スポーツ団体の役割の明確化</li> <li>○ 各スポーツ団体のスポーツ振興策の支援</li> <li>○ 各スポーツ団体の連携のための連絡・調整</li> </ul>                                      |
| (2) 健康づくりを視野に入れたスポーツ事業の展開                 |                                                                                                                                                                      |
|                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報活動による、「スポーツ意欲」の向上</li> <li>○ 「生涯スポーツ推進の手引きウォーキングマップ、とやまのウォーキングコース」の活用と環境づくり</li> <li>○ どこでもできる「軽体操」「健康体操」の推進</li> </ul>   |
| (3) 高齢者の活躍できるスポーツ事業の展開                    |                                                                                                                                                                      |
|                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者が気軽に参加できる「健康づくり」の機会拡充</li> <li>○ ゲートボール、ペタンク、パークゴルフ等のスポーツ事業の推進</li> <li>○ 3世代交流事業等の推進（高齢者の活躍の場づくり）</li> </ul>            |
| (4) コミュニケーションの場としてのスポーツ事業の展開              |                                                                                                                                                                      |
|                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「憩いの場」「ふれあいの場」となる施設づくり</li> <li>○ 情報提示など、スポーツ環境の整備</li> <li>○ 総合型地域スポーツクラブの「地域振興の拠点化」を支援</li> </ul>                         |
| (5) 南砺市の地理的特徴を活かしたアウトドアスポーツ事業の展開          |                                                                                                                                                                      |
|                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種アウトドアスポーツ大会の誘致開催</li> <li>○ 市民が参加・体験できる大会や教室の支援</li> </ul>                                                                |
| (6) スポーツ情報の収集と提供、「文化としてのスポーツ」の定着          |                                                                                                                                                                      |
|                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツ参加機会の広報活動支援</li> <li>○ スポーツ指導者研修に関する情報提供支援</li> <li>○ 利用者のニーズに応じた施設予約システムの改善</li> <li>○ 「軽スポーツ」や「スポーツ豆知識」の紹介</li> </ul> |



### 3 地域で支えるスポーツ拠点づくり

| 施 策 項 目               | 主 な 施 策 概 要                                                                 |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| (1) 自立に向けての支援体制の整備・充実 |                                                                             |
| ① 広域スポーツセンターとの連携      | ○ 「情報提供」「運営ノウハウ」提供による支援の充実                                                  |
| ② 先進スポーツクラブとの交流       | ○ 自立した運営を行っているクラブの視察・研修支援                                                   |
| ③ 指定管理制度の活用           | ○ サービス向上のための管理運営研修会の開催                                                      |
| (2) 一体的な取り組みの推進       |                                                                             |
|                       | ○ 各総合型地域スポーツクラブ、各スポーツ団体、学校が一体となって活動するための助言及び支援<br>○ 南砺市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の支援 |

#### 4 チャンピオンスポーツの推進（競技力向上）

| 施 策 項 目                                     | 主 な 施 策 概 要                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 体育協会の役割の明確化と共通理解                        |                                                                                                                                                                                             |
|                                             | ○ 役割の明示と各競技団体、協会の共通理解促進                                                                                                                                                                     |
| (2) 「一貫指導システム」の構築及びプログラムの策定、「長期的普及計画」の作成・実践 |                                                                                                                                                                                             |
|                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「一貫指導システム」による指導を実践している競技団体の紹介</li> <li>○ 競技の「長期的普及計画」の作成と実践の支援</li> <li>○ 「競技力向上事業」及び「スポーツ普及事業」に対する積極的な支援</li> </ul>                               |
| (3) 他のスポーツ団体との連携と効率的・体系的な競技力向上策             |                                                                                                                                                                                             |
|                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育協会、総合型地域スポーツクラブ、学校が連携した競技力向上策への支援</li> <li>○ 各スポーツ団体が連携した「指導者養成研修会」等への積極的な支援</li> <li>○ 県の強化指定制度と連携した選手育成に対する支援</li> </ul>                       |
| (4) 優秀な指導者の育成と指導者の資質向上、医・科学トレーニングの積極的導入     |                                                                                                                                                                                             |
|                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国、県の研修会への派遣支援</li> <li>○ 県内外の優秀な指導者の積極的招聘</li> <li>○ 医・科学トレーニング導入による効率的強化策支援</li> <li>○ 運動部活動への指導者派遣支援</li> </ul>                                  |
| (5) 体育施設の有効利用と活動拠点づくり、施設と連携した継続的な強化策        |                                                                                                                                                                                             |
|                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医・科学トレーニング器具の配置、設備充実</li> <li>○ 一貫指導の拠点となる体育施設の連絡・調整</li> <li>○ 県総合体育センターでの「医・科学トレーニング」「スポーツ相談」に関する情報の収集及び提供</li> <li>○ トップレベルの大会の積極的誘致</li> </ul> |
| (6) 企業スポーツとの相互支援                            |                                                                                                                                                                                             |
|                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内企業選手、企業チームの支援、強化策情報交換</li> <li>○ 各種大会への企業のバックアップ依頼</li> </ul>                                                                                    |

## 「南砺市スポーツ推進審議会」委員名簿

(平成23年4月1日～平成25年3月31日)

会長 武田 和一      副会長 寺井 信夫      (男性8名      女性4名      計12名)

|    | 氏 名     | 役 職 等                  |
|----|---------|------------------------|
| 1  | 武 田 和 一 | 南砺市体育協会会長              |
| 2  | 寺 井 信 夫 | 南砺市スポーツ推進委員協議会会長       |
| 3  | 伊 藤 満 夫 | 南砺市スポーツ少年団本部長          |
| 4  | 井 口 邦 雄 | 南砺市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長 |
| 5  | 野 原 宏 史 | 利賀地域選出委員               |
| 6  | 石 村 敬 子 | 平 地域選出委員               |
| 7  | 櫻 井 清 美 | 上平地域選出委員               |
| 8  | 中 山 友 子 | 井口地域選出委員               |
| 9  | 且 見 和津子 | 南砺市スポーツ推進委員協議会女性部長     |
| 10 | 南 木 恵 一 | (株)メディアプロ スポーツ事業部      |
| 11 | 齊 藤 宗 人 | 市長政策室 企画情報課長           |
| 12 | 岩 見 文 雄 | 民生部 健康課長 (民生部参事)       |

**南砺市スポーツ推進計画**

発 行 平成24年12月

南砺市教育委員会

生涯学習スポーツ課

〒932-0292 南砺市井波520

TEL 0763-23-2013

FAX 0763-82-5101